

**令和5年度
教育に関する事務の管理及び執行の
状況の点検及び評価に関する報告書**

(令和4年度事業)

令和5年10月

向日市教育委員会

目 次

I	はじめに	1
II	教育委員会の活動状況	2
III	事業評価シート（令和4年度事業）	9
	(事務事業番号)	
1	豊かな学びの創造と確かな学力の育成	10
2	豊かな人間性の育成と多様性の尊重	16
3	健やかな身体の育成	22
4	学びを支える安心・安全な教育環境の充実	26
5	学校・家庭・地域の連携・協働による学校の 教育力の向上	30
6	生涯学習環境の充実	33
7	家庭・地域社会の教育力の向上	45
8	安心して産み育てる体制づくり	49
9	スポーツの活動の推進	52
10	多様性を認め合う社会の実現	55
11	歴史・文化資源の整備と活用	57
IV	外部評価委員の総評	63

I はじめに

1 趣旨

「地方教育行政の組織及び運営に関する法律」第26条により、教育委員会は、毎年、その権限に属する事務の管理及び執行の状況について点検及び評価を行い、その結果に関する報告書を作成し、議会に提出するとともに、公表しなければならないとされております。

また、点検及び評価を行うに当たり、教育に関し学識経験を有する者の知見の活用を図るものとしてされております。

このため、本市教育委員会では、効果的な教育行政の推進に資するとともに市民の皆様への説明責任を果たすため、事務事業の実績について取りまとめ、成果や課題について検証しました。

また、学識経験者である市教育委員会外部評価委員の方のご協力を得て、様々な意見・助言等をいただきましたので、その結果を報告します。

2 点検・評価の対象及び方法

教育基本法第17条第2項に基づく、本市における「教育の振興のための施策に関する基本的な計画」と位置づけている「第2次ふるさと向日市創生計画」で定める重点施策や取組事業を踏まえ、主要な11施策44事業を外部評価対象事業とし、委員の方から施策ごとに様々な意見・助言等をいただきました。

なお、令和4年度は、新型コロナウイルス感染症対策のため、各種事業の中止や縮小を余儀なくされ、令和3年度同様、例年とは異なる事務・事業の執行状況となりました。

(1) 点検・評価委員

氏名	役職等
前坂 あや子	元高知県教育委員会事務局就職アドバイザー
松宮 功	元大阪国際大学短期大学部教授

(2) 点検・評価会議開催状況

第1回点検・評価会議（令和5年7月20日開催）

第2回点検・評価会議（令和5年7月27日開催）

第3回点検・評価会議（令和5年8月22日開催）

II 教育委員会の活動状況（令和4年度）

1 教育委員会構成員

役 職	氏 名	就 任 日	任 期 満 了 日
教育長	永野 憲男	平成27年7月1日	令和6年6月30日
教育長職務 代理者	松本 克彦	平成20年10月1日	令和6年9月30日
委 員	流石 智子	平成27年10月1日	令和5年9月30日
委 員	中野 緑	平成30年10月1日	令和8年9月30日
委 員	畠山 亮	令和3年12月10日	令和7年12月9日

（1）教育長の異動

なし

（2）委員の異動

令和4年9月30日で中野委員が任期満了となり、10月1日付けで再任された。

2 教育委員会の開催状況 14回

回	開催日	時 間	付議案件等
令和4年 第7回	4月28日(木)	午前9時00分～ 10時25分	<p>【報告事項】</p> <ul style="list-style-type: none"> 向日市議会令和4年第1回定例会一般質問答弁要旨及び総務文教常任委員会質疑について 令和3年度 教育委員会における新型コロナウイルス感染症対応について (令和3年4月～令和4年3月) 令和4年度小中学校の主な新規事業等について
第8回	5月17日(火)	午前9時00分～ 10時10分	<p>【議案第8号】</p> <p>向日市議会令和4年第2回定例会の議決を経るべき案件に対する意見について</p> <ul style="list-style-type: none"> 向日市公民館の設置及び管理に関する条例の一部改正について <p>【報告事項】</p> <ul style="list-style-type: none"> 向日市立第4向陽小学校における廊下天井ボードの剥離・落下について 令和4年度向日市立小中学校指定事業について 学校訪問について 令和4年度向日市放課後児童クラブ入会児童数について 年間入館者数等について(図書館・天文館・文化資料館・文化財調査事務所)
第9回	7月13日(水)	午前9時00分～ 10時45分	<p>【報告事項】</p> <ul style="list-style-type: none"> 向日市議会令和4年第2回定例会一般質問答弁要旨及び総務文教常任委員会質疑について 令和3年度いじめ調査の概要について 令和3年度不登校の状況について
第10回	8月16日(火)	午後2時00分～ 3時10分	<p>【議案第9号】</p> <p>令和5年度に使用する学校教育法附則第9条に規定される教科用図書採択について</p> <p>【議案第10号】</p> <p>向日市議会令和4年第3回定例会の議決を経るべき案件に対する意見について</p> <ul style="list-style-type: none"> 令和4年度向日市一般会計補正予算について 令和3年度向日市一般会計決算について <p>【報告事項】</p> <ul style="list-style-type: none"> 令和4年度中学校総合体育大会の結果について 史跡乙訓古墳群五塚原古墳の罹災について(報告)

回	開催日	時 間	付議案件等
第 11 回	9月26日(月)	午前10時00分～ 10時20分	【議案第11号】 人事に関するについて
第 12 回	9月28日(水)	午前9時00分～ 10時50分	【議案第12号】 教育に関する事務の管理及び執行の状況の点検 及び評価に関する報告書について 【議案第13号】 いじめ防止対策推進委員会委員の委嘱について 【報告事項】 ・向日市議会令和4年第3回定例会一般質問答弁 要旨及び総務文教常任委員会質疑について ・ICTを活用した地域の特色ある学校教育につ いて（報告） ・令和4年度向日市留守家庭児童会夏季入会児童 数について（報告） ・令和4年度第1回いじめ調査の概要について ・第19回向日市中学生英語スピーチ大会につ いて（報告） ・向日市立小中学校の修学旅行等宿泊を伴う学校 行事の実施状況について
第 13 回	10月26日(水)	午前9時00分～ 10時20分	【議案第14号】 市長の権限に属する事務の一部を教育委員会に 委任する規則の制定に係る協議について 【議案第15号】 向日市公民館管理運営規則の一部を改正する規 則について 【議案第16号】 向日市教育委員会事務局組織規則の一部を改正 する規則について 【報告事項】 ・向日市教育150年記念学校展の実施について ・向日市教育150年記念品（竹のお箸）につ いて（報告） ・向日市制施行50周年、向日市教育150年記 念給食について（報告） ・中学校給食に関するアンケートについて（報 告） ・令和4年度向日市立小中学校における体育大 会の実施状況について ・小学校における児童の医療的ケアの実施につ いて（報告）

回	開催日	時 間	付議案件等
第 14 回	11月17日(木)	午前9時30分～ 11時00分	<p>【議案第17号】 向日市議会令和4年第4回定例会の議決を経るべき案件に対する意見について</p> <ul style="list-style-type: none"> ・令和4年度向日市一般会計補正予算について <p>【報告事項】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・令和4年度向日市立小中学校外壁塗装等改修工事について ・新体力テストについて ・第2向陽小学校「算数の学校ができるまで」の出版について ・向日市立小中学校の修学旅行等宿泊を伴う学校行事の実施状況について ・令和4年度向日市中学生大会結果について（報告） ・公民館登録団体の永守重信市民会館の使用について（報告）
第 15 回	12月23日(金)	午前9時00分～ 11時00分	<p>【報告事項】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・向日市議会令和4年第4回定例会一般質問答弁要旨及び総務文教常任委員会質疑について ・令和5年向日市はたちの集いについて（報告） ・向日市留守家庭児童会育成事業運営要綱の改正について ・向日市教育150年記念学校展関連事業の実施結果について（報告） ・第21回小中学生読書感想文コンクールについて（報告） ・第11回子ども読書本のしおりコンテストについて ・第44回「少年の主張」京都府大会結果について ・令和4年度全国中学生人権作文コンテスト京都大会について ・令和4年度人権擁護啓発ポスターコンクールについて ・向日市市制施行50周年・向日市教育150年記念事業 絵画コンクールについて ・令和5年度通学区域の弾力化制度実施結果について（報告） ・令和5年度向日市の教育（指導の重点）の改訂について

回	開催日	時 間	付議案件等
令和5年 第1回	1月27日(金)	午前9時00分～ 9時50分	<p>【報告事項】</p> <ul style="list-style-type: none"> 向日市民体育館条例施行規則の一部改正について 令和5年向日市はたちの集いについて（報告） 令和4年度乙訓地方小学生駅伝大会結果について 令和5年度向日市の教育（指導の重点）の改訂について
第2回	2月10日(金)	午前9時00分～ 10時00分	<p>【議案第1号】</p> <p>向日市議会令和5年第1回定例会の議決を経るべき案件に対する意見について</p> <ul style="list-style-type: none"> 向日市特別職の職員で非常勤のものの報酬及び費用弁償に関する条例の一部改正について 向日市放課後児童健全育成事業の設備及び運営に関する基準を定める条例の一部改正について 令和4年度向日市一般会計補正予算について 令和5年度向日市一般会計予算について <p>【報告事項】</p> <ul style="list-style-type: none"> 令和4年度第2回いじめ調査の概要について 令和5年度向日市の教育（指導の重点）について
第3回	2月27日(月)	午前10時00分～ 10時30分	<p>【議案第2号】</p> <p>人事に関することについて</p>
第4回	3月10日(金)	午前10時00分～ 10時45分	<p>【議案第3号】</p> <p>令和5年度 向日市の教育について</p> <p>【報告事項】</p> <ul style="list-style-type: none"> 卒業式におけるマスクの取扱いに関する基本的な考え方について

回	開催日	時 間	付議案件等
第 5 回	3 月 24 日(金)	午前9時30分～ 11時30分	<p>【議案第 4 号】 人事に関する事について</p> <p>【議案第 5 号】 向日市社会教育委員の委嘱について</p> <p>【議案第 6 号】 向日市立学校における学校運営協議会の設置等に関する規則の制定について</p> <p>【議案第 7 号】 向日市立学校の管理運営に関する規則の一部を改正する規則について</p> <p>【議案第 8 号】 向日市教育委員会事務局組織規則等の一部を改正する規則について</p> <p>【議案第 9 号】 向日市教育委員会事務決裁規程の一部を改正する訓令について</p> <p>【議案第 10 号】 向日市教育委員会の所管に係る向日市個人情報保護条例施行規則を廃止する規則について</p> <p>【報告事項】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・向日市議会令和 5 年第 1 回定例会一般質問答弁要旨及び総務文教常任委員会質疑について ・史跡乙訓古墳群寺戸大塚古墳竹林小屋設置事業について ・令和 4 年度史跡長岡宮跡史跡等買上事業（先行取得）について ・向日市中学校給食費徴収規則の改正について ・中学校給食に関するアンケートについて（報告） ・新学期以降の学校におけるマスク着用の考え方の見直し等について

3 教育委員会委員の主な活動（教育長のみが出席したものを除く）

（1）教育委員会関係行事への参加

- 小中学校入学式・卒業式
- 小中学校訪問
- 小中学校公開授業、研究発表会
- 中学生英語スピーチ大会
- 向日市はたちの集い（成人式）
- 向日市立向陽小学校創立150周年記念式典
- 永守重信市民会館開館記念式典
- 洛南高等学校附属小学校卒業式

（2）新型コロナウイルス感染症拡大防止のため中止となった教育委員会関係行事及び規模縮小より不参加となった活動

- 小中学校体育大会
- 中学生弁論大会
- 小学生夏休み作品展
- 中学生美術展・書道展
- 小学校陸上運動交歓記録会
- 乙訓地方小学生駅伝大会
- 京都府立向日が丘支援学校入学式、卒業式
- 京都西山高等学校入学式、卒業式 ほか

（3）研修・協議会等

- 乙訓教育委員会連合会教育委員研修会
- 乙訓教育委員会連合会定期総会
- 京都府市町村教育委員会連合会定期総会・研修会
- 京都府内市町（組合）教育委員会研修会
- 近畿市町村教育委員会研修大会（オンライン）

Ⅲ 事業評価シート（令和4年度事業）

施策番号	1
施策名	豊かな学びの創造と確かな学力の育成

施策の基本方向
 ○児童生徒が学ぶことの意義や楽しさを感じられる多様な学びの実現に努めるとともに、「主体的・対話的で深い学び」の視点に立った授業改善を行い、確かな学力をはぐくむ教育を推進する。

事業名	研究指定
事業概要 実績	<p>○各学校は、京都府教育委員会や京都府乙訓教育局、本市教育委員会の研究指定を受け、児童生徒の実情に応じて実践的に授業改善や学習環境の整備等を行い、学力向上に取り組んだ。新型コロナウイルス感染の拡大防止対策を行った上、公開授業を実施した。</p> <p>○文部科学省指定 「学びの保障・充実のための学習者用デジタル教科書実証事業」 ・全小学校（算数・英語） ・勝山中学校（数学・英語）、西ノ岡中学校・寺戸中学校（理科・英語） （児童生徒へのデジタル教科書の配布）</p> <p>「教育課程実施検証協力校事業」（算数） ・第2向陽小学校 （国立教育研究所が作成・開発する CBT 方式の問題の実践研究への協力）</p> <p>○京都府教育委員会指定「未来の担い手育成プログラム研究校」・京都府乙訓教育局指定「学力充実指定校」・向日市教育委員会指定（1 / 3）※指定期間3年中1年目を示す。以下同じ。 ・西ノ岡中学校 「生涯にわたり学び続ける生徒の育成」～他者と協働して課題解決に挑む～ （企業等から出題される「正解のない問い」を解決しようとする、課題解決型学習の取組） <div style="text-align: right;">公開授業 1月31日</div></p> <p>○京都府教育委員会指定「絆の作り手育成プログラム研究校」・向日市教育委員会指定（2 / 3） ・第5向陽小学校 「自己有用感をはぐくむ教育活動の推進」～チャレンジ！あきらめない！ みとめあう！みんな大好きスマイル5向～ （地域「文化財」を教材としたカリキュラムづくりと自己有用感の高揚を図ることを大切にしたい取組） <div style="text-align: right;">公開授業 2月9日</div></p>

<p>○京都府教育委員会指定「学びの深化プロジェクト実施校」・向日市教育委員会指定（2／2）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・勝山中学校 「新学習指導要領が目指す『主体的・対話的で深い学び』がある授業」 （各教科の「見方・考え方を自在に働かせ、生徒自身の学ぶ意欲を引き出す授業改善の取組」 公開授業 1月24日 <p>○京都府教育委員会指定「C B T 調査システム構築・活用実証研究」 （2／2）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・第6向陽小学校 ・勝山中学校 （一人一台端末を用いて、児童生徒の学力学習状況の測定、個に応じた指導の充実につなげる調査システム構築のための実践研究協力） <p>○京都府乙訓教育局指定「学力充実指定校」・向日市教育委員会指定（1／1）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・第2向陽小学校 「子どもたちの問いを大切にした算数の授業 ～数学的な見方・考え方を生かして、より深い学びの実現へ～ 公開授業 2月3日 ・第3向陽小学校 「『わかった!』『できた!』『つながった!』」～自ら考え、学び続ける力の育成～ 公開授業 1月27日 <p>○向日市教育委員会指定</p> <ul style="list-style-type: none"> ・向陽小学校 「『主体的・対話的で深い学び』を実現する授業づくり」 ～G r o w t h e C a s t 未来の主役を育てる～ 公開授業 2月10日 ・第4向陽小学校 「心をつなぐ 学びをつなげる」～情報活用能力の育成～ 公開授業 2月1日 ・第6向陽小学校 「『考えの形成』から『深い学び』を育む国語科『説明的な文章』の指導」 ～つなげる つながる 授業づくり～ ※京都府小学校教育研究会 国語科研究協力校 公開授業 11月25日 ・寺戸中学校 「仲間とつながり、目標に向けて支えながら取り組める生徒集団の育成」 公開授業 9月12日
--

	<p>○「GIGAスクール構想」に基づき、整備された児童生徒1人1台タブレット端末の利活用促進に向けて、GIGAスクールプロジェクトチーム（PT）会議を開催し、タブレット端末を使った効果的な実践について交流・協議を行った。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・第1回（6月28日） 新規導入アプリケーション研修会について ・第2回（11月24日） <ul style="list-style-type: none"> ① 京都府教育委員会開催のICTリーダー研修の報告 ② 1人1台端末活用実践事例の提供 ・第3回（2月22日） <ul style="list-style-type: none"> ① 京都府教育委員会開催のICTリーダー研修の報告 ② タブレット利活用調査結果の報告 <p>○各学校では、夏季休業中に全教職員を対象にした新規導入アプリケーションの活用研修会を実施し、個別学習や協働学習における効果的な活用方法について研修を行った。各教科等の授業の中で、インターネットを活用した調査活動はもとより、知識・技能の習得や話し合い活動、作品制作、成果発表などの場面において、配付されたタブレット端末を活用し、学習活動の充実や情報活用能力の育成を図った。</p> <p><タブレット端末を活用した授業例></p> <ul style="list-style-type: none"> ・各教科等や総合的な学習の時間において、インターネットを活用した調査活動や報告等の発表に活用した。（小・中学校） ・教科書に記載されているデジタル教材（動画や音声）の活用（小・中学校） ・ドリル教材を用いて漢字や計算問題など各自の習熟度に合わせて課題を選択し、繰り返し演習することで学習の定着を図った。（小・中学校） ・実際にあったチャットやメールのトラブルを体験することで、SNSの正しい使い方や注意すべきことについて理解することができた。（小学校）
担当課	学校教育課

事業名	学力テストの実施
事業概要 実績	<p>○各種学力テストを実施し、各学校は児童生徒の学習の定着状況を把握するとともに結果を分析し授業改善につなげた。</p> <p>（向日市）標準化された学力テスト（CRT） 小学4年生～中学3年生 令和3年度版京都府学力診断テスト 小学4年生、中学1年生、2年生</p> <p>※令和4年度は学びのパスポートの準備のため、府の学力診断テストは実施されなかったが、市として学力の実態把握をするために令和3年度版を利用して実施した。</p> <p>（文科省）全国学力・学習状況調査 小学6年生、中学3年生</p>
担当課	学校教育課

事業名	子ども未来づくり支援事業（体験活動）
事業概要 実績	<p>○児童生徒の体験活動</p> <p>各学校においては、それぞれの学校の実態や地域の特色を踏まえ、伝統や文化についての児童生徒の体験的な学習や、知的好奇心を育む学習などを実施した。</p> <p>（目的別体験活動件数）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・学力向上（習字、プログラミング 法教育など） 12件（小学校11件、中学校1件） ・体験活動（農業、栽培、剪画など） 6件（小学校 6件、中学校0件） ・伝統文化（琴、しめ縄、竹細工など） 10件（小学校 9件、中学校1件） ・健康安全（防煙、いのちの学習など） 3件（小学校 1件、中学校2件） ・キャリア（社会で働く人から学ぶ） 2件（小学校 0件、中学校2件）
担当課	学校教育課

事業名	ふるさと学習
事業概要 実績	<p>○各学校では新型コロナウイルス感染症の影響により校外での体験活動や地域の方々との交流が制限されたが、コロナ禍での教育課程に位置付け感染状況に応じた対策を講じながら可能な限り実施した。</p> <p>○全小学校では生活科や社会科と関連させ、総合的な学習の時間に実施した。</p> <p>1年生・2年生：「向日市にふれる」町探検（校区の公園や図書館等の見学）を通した学習</p> <p>3年生・4年生：「向日市を知る」特産物（なす、たけのこ等）や校区内の特色（お寺・踊り・用水路等）についての学習、簡単な歴史についての学習</p> <p>5年生・6年生：「向日市を学ぶ」歴史・文化や農作物等についての学習</p> <p>※特徴的な取組</p> <p>5向小 6年生 京都府教育委員会 「絆の作り手育成プログラム研究指定校」（令和3～5年度）</p> <p>学習：文化財を生かした向日市の魅力発信について（市長からの動画メッセージ、向日市文化資料館見学、市長等への学習内容の発表交流、向陽高等学校生徒、地域の方、市職員への学習成果の発表）</p> <p>○中学校では総合的な学習の時間において実施した。</p> <p>勝山中 1年生：向日市の史跡や特産品について調べ学習を行い、発表会交流会を行った。</p> <p>西ノ岡中 2年生：「向日市民の生活をより良くしよう！」をテーマに統計資料などを基に、向日市への提案書を作成した。</p> <p>寺戸中 2年生：「第6回向日市ふるさと検定」に向けて向日市の歴史や地理等について学習を行い、過去問題を解く等知識を獲得した。</p>

	<p>全中学校：「第6回向日市ふるさと検定」受検（勝山1年生、西ノ岡2年生、寺戸2年生）</p> <p>○ふるさと学習成果展 児童生徒が地域ならではの特色に関心を高め、ふるさとへの愛着を育むとともに、授業で取り組んだ学習成果（新聞、プレゼンテーション資料・動画等）を校外に展示し、本市の特色ある教育活動を広く市民に知ってもらい、本市への関心を高める機会とした。</p> <p>日 時 令和4年12月24日から令和5年1月15日まで 場 所 向日市文化資料館 ラウンジ 参加校 向陽小学校、第5向陽小学校、西ノ岡中学校</p>
担当課	学校教育課

施策の成果と課題	
<p>【成果】</p> <p>○小学校では新学習指導要領全面実施の3年目、中学校では全面実施の2年目となり、各学校では、「主体的・対話的で深い学び」の視点に立った授業改善に向け、児童生徒の実態に応じた研究テーマを設定し、効果的な指導方法や指導体制を工夫するなど研究を進めた。</p> <p>○全教職員を対象にした新規導入アプリケーションの活用研修会を実施し、個別学習や協働学習における効果的な活用方法について研修を行うことができ、各教科等の授業の中で、インターネットを活用した調査活動はもとより、知識・技能の習得や話し合い活動、作品制作、成果発表などの場面において、配付されたタブレット端末を活用することで、児童生徒の学習活動の充実や情報活用能力の育成を図った。</p> <p>○全国学力・学習状況調査や令和3年度版京都府学力診断テストを実施し、それらの結果を踏まえ教員は把握した学力課題等について各校内研修において共有し、授業改善につなげた。</p> <p>○各学校は、児童生徒の体験活動について、コロナ禍における感染状況を考慮し、計画を中止することもあったが、計画の変更や対策を講じつつ可能な限り実施することができた。</p> <p>○ふるさと学習については、感染状況を注視しながらではあったが、地域の「郷土」「人」「もの」のつながりを大切にしたい取組を進めることができた。</p> <p>○5向小では京都府教育委員会から3年間の指定を受け、向日市の文化財を題材として課題解決型学習に取り組み、ふるさと向日市への関心を一層高めることができた。</p> <p>○ふるさと学習成果展では、新しい試みとして児童が制作したプレゼンテーション資料・動画をスクリーンに繰り返し再生した。市民からは「コンピュータを使って、子どもたちがこんな素晴らしいものを作っているのですね。」などの声を聴くことができ、児童生徒のふる</p>	

さと学習の成果について広く周知することができた。

【課題】

○学校が研究指定を受けて取り組んでいる研究について、コロナ禍においても感染症対策を講じながら、授業を公開することはできたが、外部講師を招聘することが難しく、また、成果について普及させる場が限定されていた。今後、成果の普及方法について検討し、教職員同士が学び合える場となるよう、一層充実させていく必要がある。

○ICTを活用した授業改善の進捗状況については、教員間や学校間において差があるため、GIGAスクールプロジェクトチーム会議を一層活性化させ、全ての指導者において改善が図れるよう努めたい。

○各学力テストの結果は各教科とも概ね国や京都府平均であったが、令和3年度版京都府学力診断テストにおいては、中学1年生の国語と数学、中学2年生の数学が不十分であった。小中学校の授業の質の向上を図るため、まずは各校教務主任、学力向上に係る教職員対象の会議を実施し、学習指導要領の趣旨理解とともに具体的な授業改善の視点を共通理解することを通して、授業力の向上を図る必要がある。

○ふるさと学習のさらなる充実を図るため、向日市の特色や魅力について、まずは教職員対象の研修会を実施し、地域や向日市の特色について知る必要がある。

外部評価委員評価及び意見等

○向日市の小・中学校の多くが、積極的に指定校を受けている。その研究テーマから、学校教育目標の達成に向けて、教員が一丸となって努力していることが伝わってくる。このことを契機として、学校全体の教育の質の向上も期待できる。

○子どもの頃から職業について学ぶことは必要であり、社会で働く人から学ぶ機会を作っていることは評価できる。

○ふるさと学習に重点を置くことはとても大切である。学習成果の展示とともに、子ども達が取材した人達に発表の成果を聴いてもらうことは、学習指導要領が目指す「深い学び」になる。さらに、発表の場に取材した方を招いて、児童生徒の発表を聴いてもらうとよい。そして、発表内容についてコメントをもらう。このフィードバックによって、自己有用感の高揚を図ることができる。ぜひそういう場を設けていただきたい。発表内容に関する意見を聴くことで、教員自身の教員としての自覚と使命感を醸成することにも寄与すると考えられる。

策番号	2
施策名	豊かな人間性の育成と多様性の尊重

<p>施策の基本方向</p> <p>○一人一人の尊厳と人権が尊重され、個性の違いや多様性を認め合い、主体的に行動し、自らの能力を最大限に発揮することができる教育を推進する。</p> <p>○多様な考えや価値観に触れることを通じて、人を思いやり尊重する心を育てるとともに、自らの考えや思いを伝えながら感性や情緒、創造力や表現力をはぐくむ。</p> <p>○すべての児童生徒が安心して通うことができ、楽しく過ごすことができる学校づくりに取り組む。</p>

事業名	「特別の教科 道徳」実践交流
事業概要 実績	<p>○新型コロナウイルス感染対策を講じながら実施し、参加者は公開された授業を参観し、事後研究会において授業改善の視点を明確にした協議を行った。</p> <p>・授業公開 第2向陽小（6年1組）</p> <p>主題名 自分と向き合い誠実に生きる（内容項目 A正直、誠実）</p> <p>教材名 「手品師」 参加者数 16人</p>
担当課	学校教育課

事業名	人権教育
事業概要 実績	<p>○あらゆる人権問題に対し、豊かな人権感覚を持ち、幸せな社会生活を営めるよう、人権意識の高揚につながる取組を行った。加えて、新型コロナウイルス感染者への差別や偏見防止に向け指導を行った。</p> <p>◆人権教育の授業時数（各教科、特別の教科道徳、特別活動、総合的な学習の時間）</p> <p>小学校18.6時間（小1～小6における各学年の年間授業時間の平均）</p> <p>中学校17.2時間（中1～中3における各学年の年間授業時間の平均）</p> <p>◆教職員研修</p> <p>①向日市教職員研修会（オンラインで実施）</p> <p>日 時：令和4年8月19日（金）</p> <p>講 師：関西外国語大学短期大学部 教授 明石 一郎 氏</p> <p>「今、子どもの人権を考える ～特別活動の時間で行う「同和問題学習」の授業づくり～」</p> <p>参加者数 77人</p> <p>②各学校の校内研修会</p> <p>同和問題（部落差別）、障がい者理解教育、LGBTQ理解教育、身の回りの差別、新型コロナウイルス感染者への人権問題等をテーマとして実施</p>

	◆人権教育に関する参観授業 新型コロナウイルス感染症拡大予防のため中止
担当課	学校教育課

事業名	特別支援教育の充実
事業概要 実績	<p>○向日市教育支援委員会において、小中学校に在籍又は就学予定の幼児、児童生徒について、障がいや特性等に配慮した適切な就学について協議し、相談及び指導を行った。 相談件数 116件（就学前48件、小学校46件、中学校22件）</p> <p>○各校の状況に応じ、特別支援教育支援員を配置し、教育上特別の支援を必要とする児童生徒に対する支援を行った。 全小中学校に配置 小学校27人、中学校9人</p> <p>○特別支援教育就学奨励費を支給し、特別支援学級に就学する児童生徒の保護者の経済的負担軽減を図った。 給付内訳（給付対象人数：小学校91人、中学校28人） 学用品等購入費（小学校86人、中学校26人） 給食費（小学校83人、中学校25人） 校外活動費（宿泊あり・宿泊なし）（小学校11人・85人、中学校0人・26人） 修学旅行費（小学校11人、中学校7人） 体育実技用具、柔道（中学校2人） 新入学児童生徒学用品費等（小学校10人、中学校7人）</p>
担当課	学校教育課

事業名	職場体験活動
事業概要 実績	○望ましい職業観や勤労観等を身につけさせるため、中学2年生を対象に介護や農作業等の体験活動や地域社会における職場体験を実施しているが、令和4年度も新型コロナウイルス感染症の影響により中止した。
担当課	学校教育課

事業名	安心・安全教育
事業概要 実績	○「向日市いじめ防止基本方針」に基づき、各小中学校においては「いじめ防止基本方針」を策定するとともに、校務分掌にいじめ防止委員会を位置付け、日常的にいじめの早期発見と早期対応に努めた。

○年2回のいじめ調査（アンケートと個別に聞き取り）を実施（1回目：7月、2回目：11月）した。
 ※各調査後、3か月後を目安に追跡調査を実施した。

いじめ調査の認知・解消件数（延べ件数）				
年度	令和3年度		令和4年度	
項目	認知	解消	認知	解消
小学校	1,142	1,049	1,092	977
中学校	186	169	133	111
合計	1,328	1,218	1,225	1,088

○8月と2月に向日市いじめ防止対策推進委員会（臨床心理士や弁護士、小児科医等が委員）を開催し、いじめ調査結果を基にいじめの防止等に向けた方策について協議した。

○不登校数《年間30日以上欠席》（ ）内は令和3年度
 ・小学校 1.78%（1.57%）
 ・中学校 5.82%（4.91%）

○交通安全教室
 小学校 「交通安全教室」 1年2年：向陽小、2向小、5向小、6向小
 「自転車運転免許教室」 4年：2向小、5向小
 中学校 「交通安全教室（自転車）」 1年：西ノ岡中、寺戸中

担当課	学校教育課
-----	-------

事業名	教育相談等
事業概要実績	<p>○「ひまわり広場」の充実 市内の不登校の児童生徒を対象に、主体性や人間関係の改善等を図る指導や相談を行うことにより、学校への復帰や社会的自立に向けた支援を行う「ひまわり広場」の対応を充実させた。 205日開設（週5日間 午前9時30分から正午まで） 指導員10人（各開設日2人） 登録児童生徒17人（小学校8人、中学校9人） 通室児童生徒数 平均6.3人/日</p> <p>○教育相談事業の実施 来所による相談、電話による相談、学校への巡回相談を実施した。とりわけ来所相談はニーズが高く、1人の臨床心理士が週2回、児童生徒やその保護者等の相談に応じた。</p>

	<p>(各相談件数)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・来所教育相談件数（市役所）延べ272件 ・電話教育相談件数 延べ82件 ・学校への巡回教育相談（全小中学校） 延べ252件 <p>○心の相談サポーター事業</p> <p>不登校の未然防止や早期解決を図るため、登校できるが教室には入りにくい不登校傾向の児童生徒を対象に、学習支援や教育相談等を行い、児童生徒の悩みや不安、ストレス等の解消を図り、心にゆとりを持てるような環境を提供した。</p> <p>臨床心理学を学ぶ大学院生 13人</p> <p>配置校 小学校6校、中学校2校（各校週1日～4日）</p> <p>対応件数 延べ1,162件</p>
担当課	学校教育課

事業名	校種間連携の充実
事業概要 実績	<p>○児童生徒間の交流及び教職員対象の研修は、新型コロナウイルス感染症の影響によりほとんどの取組は中止となり、感染状況を注視しながら勝山ブロックのみの実施となった。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・児童生徒 <ul style="list-style-type: none"> 部活動体験（見学） 中止 中学校の授業体験 中止 中学校の体育大会見学 中止 ・教職員 <ul style="list-style-type: none"> 合同研修会（学力分析、生徒指導など） 合同授業研究会（公開授業の参観、事後研究など） 勝山ブロック （向陽小へ約40人、5向小へ約40人、勝山中へ約50人） 西ノ岡ブロック 中止 寺戸ブロック 中止 <p>○新型コロナウイルス感染症の影響により、小学校教員と、保育所（園）職員及び幼稚園教員との懇談のみ実施し、その他の交流行事は中止した。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・幼児児童の交流行事 中止 <ul style="list-style-type: none"> 紙芝居、クイズ、勉強体験の資料や動画による学校紹介等、各学校の工夫により、入学園児の多い保育所（園）及び幼稚園へ配布 ・教職員（全小学校） <ul style="list-style-type: none"> 保幼小交流会 担当者による懇談のみ実施 合同研修会（京都府乙訓教育局主催事業） 幼児教育、保育の一日体験（初任者研修、10年目研修対象）
担当課	学校教育課

施策の成果と課題

【成果】

○小中学校道徳実践交流会では、小学校教員による特別の教科道徳の授業を各学校の教員が参観し、新学習指導要領で示される「考え、議論する道徳」を踏まえた授業改善についての協議を通して授業改善の視点を明確にすることができた。

○「ひまわり広場」の指導員の確保に向けて臨床心理士を養成する大学と交渉を重ね、人材を確保することができた。また、複数の指導員を引き続き確保することで、通室する児童生徒に対して個に応じた丁寧な支援を実施することができた。

○心の相談サポーター事業では、各サポーターが別室へ登校する児童生徒への個別の対応や、教室に入りにくい児童生徒の教室入室時における状況について教員と共有するなど、対象児童生徒の支援に貢献した。

○幼児児童生徒一人一人に応じた継続した教育的支援の充実を目指して、療育等の関係機関と協力して進めてきた「移行支援シート」の活用について、小学校での活用が定着し、中学校への活用も進められた。

【課題】

○中学校の職場体験活動の再開に向け、体験活動の在り方を検討するとともに、体験活動前後の学習について特別の教科道徳等で計画的に進めるなど、指導内容を充実させ、児童生徒に望ましい職業観や勤労観を育成する必要がある。

○向日市いじめ防止対策推進委員会において、委員からここ数年いじめの認知件数が減少している傾向について指摘があり、本市においては学年が上がるにつれ認知件数が減少する傾向も見られるところである。教員が児童生徒の些細な変化を見落とすことなく、一層教員と児童生徒との信頼関係を構築し、いじめの初期段階で丁寧に寄り添うなどの対応が必要である。

○各学校においては、不登校に係る児童生徒一人一人のアセスメントに基づいた支援を進めるため、外部との連携を図りながら組織的に対応していく必要がある。

○すべての児童生徒の教育機会を確保するため、学校への登校という形にこだわらず、本市「ひまわり広場」の活用やフリースクール等との連携を図り、児童生徒の社会的自立に向けた支援を充実する必要がある。

外部評価委員評価及び意見等

○若手教職員の人権教育が課題にあがっているが、教育委員会の社会教育部門で行っている人権研修会に参加してもらうなど違う角度からも人権を学んで、知識の幅を広げてもらってはどうか。

○「移行支援シート」が定着してきたことは評価できる。定着すると形骸化が始まる。今後、形骸化しないよう注意したい。そのためには、「シートの何が役に立つのか」「どこを見れば児童生徒の指導に活かされるのか」などを検証が不可欠である。時代の変化とともに、内容をリニューアルするなど、普段に見直し、改善を行っていただきたい。

○指導員の確保が大変難しい中、継続して「ひまわり広場」の対応を充実させたことは評価できる。公立・民間を問わず、フリースクールとも連携を密にして児童・生徒の教育の機会の確保に努めていただきたい。

施策番号	3
施策名	健やかな身体の育成

施策の基本方向

○生涯を通じて体育・スポーツ活動に親しむ能力と体力の向上を図る。

○知育・徳育・体育の基礎となる食育の推進とともに、現代的な健康課題への理解を深める等、健やかな身体の育成を図る。

事業名	新体力テストの実施								
事業概要 実績	○各学校では、感染症対策を講じ新体力テストを実施した。								
	<結果>								
	・小学6年(男子) ※8種目中、7種目において全国平均を下回る。								
		握力 (kg)	上体起こ し(回)	長座体前屈 (cm)	反復横跳 び(点)	20mシャ トルラン(回)	50m走 (秒)	立ち幅跳 び(cm)	ボール 投げ(m)
	向日市	17.65	20.18	36.24	42.29	53.94	9.01	161.32	23.62
	全 国	19.77	21.65	35.78	45.86	61.16	8.84	166.33	25.43
	京都府	18.56	21.33	33.49	43.89	59.92	8.82	165.76	25.44
	・小学6年(女子) ※8種目中、7種目について全国平均を下回る。								
		握力 (kg)	上体起こ し(回)	長座体前屈 (cm)	反復横跳 び(点)	20mシャ トルラン(回)	50m走 (秒)	立ち幅跳 び(cm)	ボール 投げ(m)
	向日市	17.34	19.12	42.01	41.32	41.32	9.20	150.81	14.31
	全 国	19.53	19.66	40.71	43.44	47.52	9.16	155.76	15.97
	京都府	18.28	19.46	38.32	41.74	46.98	9.17	155.34	16.73
	・中学3年(男子) ※8種目中、5種目において全国平均を下回る。								
		握力 (kg)	上体起こ し(回)	長座体前屈 (cm)	反復横跳 び(点)	20mシャ トルラン(回)	50m走 (秒)	立ち幅跳 び(cm)	ボール 投げ(m)
	向日市	31.71	29.68	47.27	55.81	92.54	7.36	224.69	22.26
	全 国	34.65	28.96	47.81	56.28	94.44	7.41	216.35	23.54
京都府	34.22	28.52	46.23	56.05	94.00	7.44	213.06	22.73	
・中学3年(女子) ※8種目中、5種目において全国平均を下回る。									
	握力 (kg)	上体起こ し(回)	長座体前屈 (cm)	反復横跳 び(点)	20mシャ トルラン(回)	50m走 (秒)	立ち幅跳 び(cm)	ボール 投げ(m)	
向日市	23.43	23.76	50.16	47.82	56.91	8.41	179.36	13.94	
全 国	25.72	24.55	48.98	49.35	60.94	8.58	178.58	14.44	
京都府	25.08	23.80	47.13	48.88	60.23	8.62	175.71	13.61	
※全国数値は令和4年度分が未発表のため令和3年度分を記載									
担当課	学校教育課								

事業名	健康に関する授業
事業概要 実績	<p>○薬物乱用防止教室について、新型コロナウイルス感染症の影響により学校ごとに実施時期が異なるが、すべての学校で実施した。</p> <p>向陽小6年生（2月）、2向小6年生（2月）、3向小6年生（12月）、4向小6年生（12月）、5向小6年生（7月）、6向小6年生（1月） 勝山中2・3年生（6月）、西ノ岡中全学年（12月）、寺戸中3年生（7月）</p> <p>○生命のがん教育推進プロジェクト事業（京都府健康福祉部） 新型コロナウイルス感染症の影響により中止した。</p>
担当課	学校教育課

事業名	食育・学校給食運営
事業概要 実績	<p>○小学校では、食に関する体験活動（農作物栽培）をし、給食を通じて食育の推進を図った。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・農作物例 1・2年生（さつまいも、だいこん、ミニトマト、きゅうり） 3・4年生（なす、へちま、ゴーヤ） 5・6年生（米、かぼちゃ、インゲンマメ） 特別支援学級（きゅうり、インゲンマメ、オクラ、さつまいも） ・給食等の活用例（さつまいも、だいこん、米） <p>○小学校給食実施児童数 3,028人（令和4年5月1日現在） 米飯給食週4回実施。 食器洗浄機、検食用冷凍庫、冷凍冷蔵庫、ガス回転釜等、給食備品の更新により、給食室衛生管理の徹底を図った。 給食室害虫駆除、栄養教諭等保菌検査、食材検査、専門家による研修等を実施し、衛生管理の徹底を図った。</p> <p>○中学校給食実施生徒数 1,425人（令和4年5月1日現在） 米飯給食週5回実施。</p> <p>○栄養士等給食関係者従事者の保菌検査、専門家による研修等を実施し、衛生管理の徹底を図った。</p> <p>○食物アレルギーを有する児童生徒へ医学的根拠に基づいた適切な対応ができた。</p> <p>食物アレルギー 小学校 203人（有症率6.7%） （そのうち、除去食対応については、90人）</p>

	<p>中学校 150人（有症率10.5%） （そのうち、除去食対応については、35人）</p> <p>○中学校給食料理コンクール</p> <p>料理コンクールを通じて、栄養のバランスや、地元野菜など給食への興味関心を持たせ、給食を通じて食育の推進を図った。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・全中学校応募者合計数：624人 ・入賞献立 優秀賞 5名（主菜1名、副菜2名、汁物1名） 入賞 4名（主菜2名、副菜1名、汁物1名） （優秀賞の献立は、1月25日～31日の学校給食週間で実際に献立実施）
担当課	学校教育課

施策の成果と課題	
	<p>【成果】</p> <p>○すべての小中学校において薬物乱用防止教室及び非行防止教室等を開催することができた。薬物乱用防止教室の実施については、年間指導計画に位置付け、薬物に対する正しい知識の習得と非行防止に向けた取組を実施することができた。</p> <p>○小学校では、日々の給食指導や給食週間の取組、給食委員会の活動等を通して、食に対する正しい知識や食事のマナーの向上が図れた。</p> <p>○すべての小中学校において、生活科や理科、委員会活動、生活単元活動をとおして、農作物を栽培している。そのうち、小学校では収穫したものを給食等で活用し、栽培活動と食育と関連させた学習を進めることができた。</p> <p>【課題】</p> <p>○新体力テストの結果、多くの種目で全国平均を下回っていることを踏まえ、児童生徒の体力向上に向けて、体育や保健体育の授業中にサーキットトレーニングや筋力トレーニング等を行うだけでなく、休み時間の外遊び、部活動等を通じて様々な運動を経験させ、一層の体力の向上を図る必要がある。</p> <p>○学校給食センターにおける異物混入事象について、今後は機器使用方法を改めて研修するとともに、調理過程の各段階における使用機器等の点検を徹底する。また、今後、未然防止等に向けたマニュアルを作成する必要がある。</p> <p>○中学校において、給食を活用した食育を通じて、望ましい生活習慣を身に付けるよう指導を行っていく必要がある。</p>

外部評価委員評価及び意見等

○就学してから急に体力が低下するというものでもないので、幼少期から保健センター・幼稚園・保育所などと連携して体力づくりに取り組み体力アップに繋げていくことができないか。また、全国平均と比較し、低いか否かにばかり注目する必要はない。過年度全国平均との差が、どれくらい縮小しているかに注目するのも必要である。なぜなら、それが教育の成果だからである。

○薬物に対する正しい知識を習得するための薬物乱用防止教室や非行防止教室は実施することが重要である。今後も、時期にこだわらず、すべての小中学校において開催していただきたい。

○学校給食の食物アレルギー対応は非常に注意がいるが、除去食対応は、友達と同じものを食べることができ、保護者の負担も軽減できるので今後も続けていただきたい。また、栄養のバランスや、地元野菜など給食への興味関心を持ってもらうため、給食料理コンクールを続けて行っていることは評価できる。

施策番号	4
施策名	学びを支える安心・安全な教育環境の充実

<p>施策の基本方向</p> <p>○自然災害や事故などの多様な危機から子どもを守り、いかなる事態においても子どもたちの学びを止めない危機管理体制を整備する。</p> <p>○すべての子どもが将来に希望をもって成長していけるように、学びと生活の支援が充実した居場所としての学校づくりに取り組む。</p> <p>○強い使命感と高い専門性を持つ教員の育成を図り、児童生徒が明るくいきいきと学ぶ魅力ある学校づくりを目指す。</p> <p>○子どもの豊かな成長を支える教職員の資質能力の向上を図る。</p>

事業名	子ども未来づくり支援事業（教職員研修）
事業概要 実績	<p>○教育委員会主催教職員研修会においては、新型コロナウイルス感染症対策として、集合ではなくオンラインでの形態で実施した。</p> <p>○各学校における教職員研修や先進校視察研修については、新型コロナウイルス感染症の影響により、計画の多くを中止した。</p> <p>①教育委員会主催教職員研修 全教職員が各勤務校において3講座のいずれかの講座をオンラインで受講</p> <p>【内容】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・学力向上（2講座） <ul style="list-style-type: none"> 「児童生徒のつけさせたい力を明確にした授業づくり」 香川県高松市立川東小学校 教頭 黒田 拓志 氏 参加者数 79人 「9年間を通じた英語力の向上を目指した授業づくり」 大阪樟蔭女子大学児童教育学部児童教育学科 教授 兼重 昇 氏 参加者数 46人 ・人権教育（1講座） <ul style="list-style-type: none"> 「特別活動の時間で行う「同和問題学習」の授業づくり」 関西外国語大学短期大学部 人権教育思想研究所長 教授 明石 一朗 氏 参加者数 77人 <p>②各学校の主な教職員研修 各校の教育課題に応じた研修講師を招き、研修会を実施 小学校13件、中学校5件（年間通じて複数回実施を含む延べ件数）</p> <p>【内容】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・学習指導（新学習指導要領の趣旨理解、主体的・対話的で深い学び、思考力・表現力を育てる授業づくり、算数科教育と評価、QUの活用等） ・特別支援教育（児童の特性理解）

	<ul style="list-style-type: none"> ・人権問題（LGBTQ、部落問題学習） ・その他（ストレスマネジメント、強みの理解・活用・可能性、思春期の児童理解等） <p>③先進校視察研修 小学校5件、中学校2件</p> <p>【視察先】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・関西学院初等部、筑波大学附属小学校、大阪教育大学附属池田小学校、お茶の水女子大学附属中学校、横浜国立大学教育学部附属横浜中学校等
担当課	学校教育課

事業名	登下校時安全対策
事業概要 実績	<p>①通学路安全推進会議の開催（2回） 向日市子どもの移動経路／通学路等の交通安全プログラムに基づき、通学の安全対策について協議を行った。 構成団体：京都府乙訓土木事務所・京都府向日町警察署 向日市（公園交通課・学校教育課・道路整備課・子育て支援課）</p> <p>②交通指導員の配置 小学校の通学路における交差点や踏切等、登校時32箇所、下校時14箇所の危険箇所に交通指導員を配置し、通学路の安全確保を図った。 また、老朽化した交通安全啓発用反射電柱幕の交換や新たな設置を行い、通学路の交通安全について啓発を行った。</p> <p>③防犯ブザーの配布 小中学校の新1年生全員に防犯ブザーを配布した。 (小学生529個、中学生476個)</p>
担当課	学校教育課

事業名	学校施設の整備
事業概要 実績	<p>○子どもたちが安全な教育環境のもとで学校生活を送れるよう、学校施設の計画的な修繕及び適切な維持管理を行うため、令和3年度に実施した外壁劣化調査を基に、老朽化が進む校舎について外壁改修工事、屋上防水改修工事を実施した。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・外壁改修内容： 外壁・庇のひび割れ、浮き等の補修及び塗装等改修工事 ・外壁改修箇所： 第4向陽小学校中校舎、第6向陽小学校南校舎、 寺戸中学校南校舎、西ノ岡中学校北校舎 ・屋上防水改修工事箇所： 第3向陽小学校南校舎、第4向陽小学校南校舎、 第6向陽小学校北校舎南校舎、寺戸中学校南校舎

	<p>○バリアフリー改修工事の実施 誰もが支障なく学校生活を送れるようバリアフリー改修工事を実施した。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・スロープ設置箇所： 向陽小学校体育館入口、第6向陽小学校玄関、体育館入口 ・バリアフリースイレ設置箇所： 第5向陽小学校昇降口横、第6向陽小学校体育館横 <p>○給食室増築工事の実施 第4向陽小学校の令和4年度以降の受け入れ児童数・教室数の増加に伴い、給食配膳ワゴンの数が増加したため、給食室内で安全に配膳準備が出来るよう増築工事を実施した。</p>
担当課	教育総務課

施策の成果と課題	
<p>【成果（学校教育課）】</p> <p>○教育委員会主催教職員研修会を実施するに当たり、令和4年度もオンライン形式で全教職員を対象にした研修を実施した。なお、実施に当たっては、事前に研修資料を参加者にデータで配付し、当日はタブレット端末で資料を確認しながら受講できるように配慮した。</p> <p>○研修講師を招き、校内研修会を実施した学校では、学習指導や評価、特別支援教育等、学校の状況に応じて様々な研修テーマを設定し、思考力・表現力を育てる授業づくりの手法や評価の考え方、障がいのある児童生徒への対応等、教職員の資質・能力の向上を図ることができた。</p> <p>○新型コロナウイルス感染症の影響により先進校視察を実施できた学校は多くなかったが、公開授業や研究授業の参観や研究会の参加だけではなく、普段の授業を見学して、日常の取組から実践を学ぶなど、先進校視察の方法を工夫して取り組んでいる学校があった。</p> <p>○通学路安全推進会議及び緊急合同点検において、学校から要望のあった通学路の危険箇所の情報を各関係機関と連携し、安全対策について点検、対策案を検討し、対策が必要な箇所について、各関係機関において、車止めの設置や電柱幕の設置など安全確保に向けた取組を進めた。</p> <p> 通行に際し注意が必要な箇所に交通指導員を配置し、児童が安心して通学できるよう通学路の安全対策を図った。</p> <p> 「学童多し注意」「危険 歩行者に注意」の電柱幕を設置することにより児童生徒だけでなく、通行する車両に対しても交通安全に対する啓発を行った。</p> <p> さらに、新1年生に防犯ブザーを配布し、不審者から身を守るための防犯・安全意識の啓発を行うとともに、いざという時に正しく使用できるよう指導を行った。また、学校だより等を通じ、防犯ブザーの定期的な電池交換と常時携行について周知を行った。</p>	

【成果（教育総務課）】

○児童生徒の安全確保及び学校施設の維持管理のために、老朽化が進行している校舎について、計画的に老朽化対策改修工事を進めることができた。

○障がいの有無に関わらず、誰もが支障なく学校生活を送ることができる環境を整備するため、スロープ及びバリアフリートイレを設置し、バリアフリー化を一層進めることができた。

○第4向陽小学校の給食室を増築し、安全に配膳できるスペースを確保することができた。

【課題（学校教育課）】

○道路や周辺の状況変化等により通学路の危険箇所は常に変化するため、通学路安全推進会議の構成団体や学校・地域と連携して、定期的に要望や意見を取り入れつつ、交通指導員の配置時間や配置場所について、最適な見直しを行う必要がある。

【課題（教育総務課）】

○児童生徒の安全確保及び学校施設の維持管理のために、老朽化が進行している校舎について、計画的に老朽化対策改修工事を実施するとともに、LED化やトイレの洋式化を進め教育環境の向上に努める必要がある。

○スロープやバリアフリートイレの整備等、引き続きバリアフリー化を推進し、誰もが支障なく学校生活を送れるよう改修工事を進める必要がある。

○令和2年5月策定の「向日市小中学校個別計画」に基づき、令和5年度は最終年度として、緊急度の高い施設の改修に取り組み、令和6年度から第2向陽小学校の改築に向けて取り組む必要がある。

外部評価委員評価及び意見等

○向日市教育委員会主催の教職員研修会は何が必要かを十分に調査したうえで計画され、質の高いものが、長く続けられている。今後も、先進校視察の研修の情報なども取り込んで、よりよい研修を継続して教育に活かしていただきたい。

○登下校時の交通指導員の配置については、問題意識を持って取り組まれている。日々交通状況は変化していくので、今後も常に新しい状況を把握して配置するよう努めていただきたい。また、交通指導員との交流会を開いて、現状・子どもの様子・問題点等を把握してはどうか。

○児童・生徒が安全で快適な教育環境のもとで学校生活を送れるよう、バリアフリーのトイレなど、予算の範囲内で効果的に改修工事が進められている。学校施設は避難場所にもなるので、災害時に安全な場所が確保できるよう、今後も学校施設の整備を進めていただきたい。

施策番号	5
施策名	学校・家庭・地域の連携・協働による学校の教育力の向上

<p>施策の基本方向</p> <p>○保護者や地域社会と連携・協働しながら、未来の創り手となる子どもの資質能力をはぐくむ「社会に開かれた教育課程」の実現を目指す。</p> <p>○次代の社会の担い手としての責任を自覚し、現代社会が抱える課題に関心をもって、主体的に社会参画できる資質と能力をはぐくむ。</p>
--

事業名	学校評価
事業概要 実績	<p>○自己評価</p> <p>各学校は、評価計画に基づき教育活動に係る評価を実施することにより、各取組を改善した。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・学校、学年、学級、校内分掌担当での評価を実施（年2～3回） ・児童生徒、保護者、学校評議員にアンケート調査を実施（年3～4回） ・評価と調査を基に教育活動を捉え直し、改善策を明確化 ・業務改善の視点を取り入れ実施（小学校5校／中学校2校） <p>○自己評価の公表</p> <p>各学校は、各研究内容や授業改善の視点、家庭学習等、自己評価の結果を受けた教育活動の改善の方向性について学校だよりで周知した。</p>
担当課	学校教育課

事業名	コミュニティ・スクールの導入準備
事業概要 実績	<p>○小中学校における学校運営協議会（コミュニティ・スクール）の導入に向けた取組状況</p> <p>①市教育委員会によるコミュニティ・スクール導入に対する啓発</p> <ul style="list-style-type: none"> ・市PTA連絡協議会、地域学校協働活動推進事業コーディネーターミーティングで説明 <p>②各小中学校等への説明と研修</p> <ul style="list-style-type: none"> ・市教頭会でコミュニティ・スクール導入やその後の運営にかかる研修 ・要請のあった学校の学校評議員会や教職員研修への協力
担当課	学校教育課

事業名	情報モラル教育
事業概要 実績	<p>○情報モラル教育の充実 各学校では特別の教科 道徳や学級活動等において、インターネット上の誹謗中傷やいじめ、個人情報流出やプライバシーの侵害、有害情報やウィルス被害に巻き込まれるなどの問題の未然防止として、具体の被害を例示しながら対策や対応等について知識を習得させるなど、情報モラル教育を充実させた。</p> <p><企業との連携></p> <ul style="list-style-type: none"> ・向陽小 全学年 11月 (NTT) ・3向小 4年生 11月 (eネットキャラバン) 5・6年生 11月 (NTT) ・4向小 5・6年生 10月 (KDDI) ・勝山中 全学年 6月 (KDDI) ・西ノ岡中 1年生 5月 (NTTドコモ)
担当課	学校教育課

施策の成果と課題	
<p>【成果】</p> <p>○保護者や地域社会と連携・協働しながら、未来の創り手となる子どもの資質能力をはぐくむ「社会に開かれた教育課程」の実現に向け、令和5年度から導入予定の学校運営協議会（コミュニティ・スクール）について、市PTA連絡協議会、地域学校協働活動推進事業コーディネーターミーティング、市小中教頭会や要請のあった学校の学校評議員会等に説明を行った。</p> <p>○「向日市立学校における学校運営協議会の設置等に関する規則」および「向日市立学校における学校運営協議会運営要領」を制定するとともに、多くの学校で、委員やコーディネータの選出等の準備を進めることができた。</p> <p>○全児童生徒の発達段階に応じ、授業での指導はもとより学級活動等において、新学習指導要領で学習の基盤となる資質・能力の一つとして位置付けられた、情報活用能力（情報モラルを含む）の育成を図ることができた。</p> <p>【課題】</p> <p>○「向日市立の小学校及び中学校の教育職員の業務量の適切な管理等に関する規則」に基づき、各学校の状況に応じた業務改善を一層推進させるとともに、京都府教育委員会「教職員の働き方改革実行計画」の評価指標を学校評価と連動させ、自己評価の項目に追加するなど業務改善の点検・評価を全学校で実施する必要がある。</p> <p>○スマートフォンやSNSの利用が低年齢化する中、これらの利用を巡るトラブルが見られたため、各学校は、実態に応じて利用について家庭と一層連携を図るとともに、安心・安全な利用について企業等と連携した指導を継続させる必要がある。</p>	

外部評価委員評価及び意見等

○コミュニティ・スクールは、子ども達が地域で活躍し、地域の活性化に繋がっていくような方向性で行われている。それぞれの学校や地域の状況に応じて、特色を持つ方向に進んでいることがうかがえる。最終的に、子ども達の成長に繋がるという、具体的な将来像を教育委員会で明確に持って、進めていることが評価できる。

○スマホが普及して SNS の利用が低年齢化しており、情報が氾濫している中でトラブル防止のための取捨選択の見極め方や、個人情報流出・プライバシー侵害の知識などを具体例を示しながら習得させることは非常に重要であり、今後もより一層の情報モラル教育の充実を図っていただきたい。

施策番号	6
施策名	生涯学習環境の充実

<p>施策の基本方向</p> <p>○市民が生涯にわたり、多様な学習活動を行うことができるよう、自主的、自発的な学習活動を支援するとともに、学習機会の提供、学習の成果を活かす場や機会の充実に努める。</p>

事業名	生涯学習情報紙の発行
事業概要 実績	<p>○市などが開催する生涯学習関連事業の情報を市民に提供するため、生涯学習情報紙を発行した。</p> <p>生涯学習情報紙：年2回(4月～9月(前期)・10月～3月(後期)) 前期500部、後期500部発行(市内公共施設等に配布)</p> <p>子ども向け夏休み情報紙：年1回(夏休み前)、各小中学校に配布</p>
担当課	生涯学習課

事業名	生涯学習推進ボランティアサークル「まなぼうや」への支援
事業概要 実績	<p>○生涯学習の推進に取り組むボランティアサークル「まなぼうや」の活動に対して、講座の受付や広報等の支援を行った。</p> <p>開催講座数：1講座 参加人数：10人</p> <p>※新型コロナウイルス感染症拡大防止のため自粛していた講座開催を3月より再開した。</p>
担当課	生涯学習課

事業名	中央公民館生涯学習講座
事業概要 実績	<p>○子どもふれあい講座の開催</p> <p>理科好きの子どもを育成するため、国家資格を有する科学の専門家から理科の不思議について学ぶ「ふしぎ発見理科教室」を4回開催した。</p> <p>①「光る生物の不思議」 ウミホタルを発光させる実験を通し幻想的な発光現象を体験した。 開催日：令和4年6月25日(土) 参加者数：15人</p> <p>②「天気わかる？ふしぎな結晶」 複数の薬品を混ぜ合わせてできる結晶を観察して、昔の天気予報を体験した。 開催日：令和4年7月31日(日) 参加者数：11人</p> <p>③「水のように動く砂」 実験により地震による地盤液状化の様子や影響を観察した。 開催日：令和4年8月27日(土) 参加者数：12人</p> <p>④「しんどうして電気も作れるふしぎなやき物」</p>

振動で音が出て変形の際に発電する圧電セラミックスについて学んだ。

開催日：令和4年9月24日（土） 参加者数：4人

○教養講座・健康講座の開催

・市民教養講座

① 「シニアのためのスマートフォン講座」

中高年を対象にスマートフォンの機能を学び、実際に使い生活に役立つことを知り、その便利さを体験した。

開催日：令和4年9月30日（木）（午前開催 ソフトバンク）

参加者数：6人

開催日：令和5年3月30日（木）（午前・午後2回開催 ソフトバンク）

参加者数：23人

② 「源氏物語に登場する春の花、梅・桜・藤・山吹ほか ～そのとき、紫式部の観察眼は～」

春の花に関する知識を深めるとともに、源氏物語の中でいかに紫式部が春の花を愛し、鋭く観察していたかについて解説していただいた。

開催日：令和5年3月18日（土） 参加者数：17人

講師：京都府立大学生命環境研究科 松谷茂客員教授

・市民健康講座

「元気で歩き続けるために」

歳を重ねるとともに衰えていく脚力を維持し、元気で歩き続けるための方法を紹介していただいた。

開催日：令和5年3月2日（木） 参加者数：19人

講師：京都府立医科大学リハビリテーション医学 三上靖夫教授

・国際理解講座

「中国を知る。日中を考える」～歴史から理解を深めよう～

日中国交正常化50周年を機に国交正常化とは、二元的関係、現在とこれからについてわかりやすく説明していただいた。

開催日：令和4年10月29日（土） 参加者数：16人

講師：京都府立大学文学部 岡本隆司教授

○市民文化展

市民の創作による作品を展示・発表する場を提供するとともに、市民の文化活動の活性化を図った。

開催日：令和4年11月5日（土）～11月7日（月）の3日間

出展者数：92人、出展数：97点、来場者数：748人

開催場所：イオンモール京都桂川イオンホール

○学習発表会「舞台の部」

公民館で活動しているクラブサークルが学習の成果を発表。

	<p>開催日：令和5年3月26日（日） 出展：登録クラブ7団体（95人）、来場者数：230人 開催場所：永守重信市民会館ホール</p> <p>なお、中央公民館は、昨年の条例改正により、永守重信市民会館のホールを除いた部分に中央公民館の機能を持たせて利用している。</p>
担当課	中央公民館

事業名	地区公民館生涯学習講座
事業概要 実績	<p>身近な公民館で、一般教養、趣味などの講座に参加することにより教養を高め、また、地域の活性化が図れるように努めた。</p> <p>○寺戸公民館</p> <ul style="list-style-type: none"> ・趣味・教養講座「楽しく学ぶ干支剪画教室」 剪画の技法を学び、令和5年の干支である「卯」の色紙を作成した。 開催日：令和4年12月9日（金） 参加者数：15人 <p>○物集女公民館</p> <ul style="list-style-type: none"> ・健康講座「楽しく介護予防体操」 脳トレーニングと椅子にすわりながらのストレッチ等を行った。 開催日：令和5年1月30日（月） 参加者数：14人 <p>○鶏冠井公民館</p> <ul style="list-style-type: none"> ・趣味・教養講座「お正月の寄せ植え」 葉牡丹を中心に和物、洋物など7種類の植物で寄せ植えを行った。 開催日：令和4年12月23日（金） 参加者数：19人 <p>○上植野公民館</p> <ul style="list-style-type: none"> ・趣味・教養講座「金箔手工芸」 色紙に金と銀など色とりどりの箔で華やかにアレンジした。 開催日：令和4年11月29日（火） 参加者数：19人 <p>○学習発表会「展示の部」（各地区公民館が順次開催） 公民館で活動しているクラブサークルが学習の成果を発表。 参加クラブ数25クラブ325人、全出展数756点、来場者総数463人 開催日：令和5年2月～3月の毎週土日</p>
担当課	中央公民館

事業名	図書館読書推進事業
事業概要 実績	<p>○資料の収集と貸出 蔵書数 198,692点 貸出資料数 294,941点 貸出者数 84,664人</p> <p>○レファレンス・サービス 受付件数 76件</p> <p>○予約サービスによる資料提供、他館との相互貸借、障がい者サービス ・予約処理件数 30,367件 ・インターネット予約受付件数 24,011件 ・相互協力 貸出 698件、借用 1,629件 ・障がい者サービス 自宅配本 29回 198点</p> <p>○読書の普及推進と読書環境の向上を図るための各種読書推進活動 ・おはなし会（7月、12月、3月） 参加者 69人 ・おはなしひろば（7月、8月、12月、3月を除く毎月） 参加者 139人 ・大人の朗読会（6月、9月、12月、3月） 参加者 68人 ・むこうビブリオバトル（7月、11月、3月） 参加者 43人 ・虹いろおはなし会（2月） 参加者 18人 ・ミニミニリサイクルコーナー（通年） 譲渡数4,506冊 ・直木賞作家今村翔吾さん講演会（7月） 参加者 53人 ・自習室の開設（8月） 利用者 41人 ・文学講座（3月） 参加者 38人 ・小中学生読書感想文コンクール（9月募集、12月表彰式） 応募者 168人</p> <p>○市制施行50周年記念事業 ・文学講座「太平記の世界」（10月） 参加者 40人 ・パネル展示「タイムトラベルあこのころの向日市とベストセラー」 （10月～12月） ・「タイムトラベル武将が語るあこのころの向日市」（11月） 参加者 25人</p> <p>○向日市教育150年記念事業 ・学校支援用図書 の 拡充 貸出セット拡充 4セット 調べ学習用図書の購入</p>

	<p>○展示</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「どきどきわくわくみつけた！」（4月） おたのしみ袋、日替わりテーマ架展示（12テーマ）など ・テーマ架（通年） 館内約10か所で季節、催事にあわせて図書を展示 ・おおきくなあれ「本の木」（通年） 応募数 213点 ・バリアフリー図書「りんごの棚」の新設（3月） <p>○図書館ボランティアの育成及び支援</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ステップアップ講座（9月） 参加者 7人 ・ボランティア養成講座（9月） 参加者 20人 <p>○他機関との協力</p> <ul style="list-style-type: none"> ・認知症図書の展示（向日市社会福祉協議会）
担当課	図書館

事業名	文化資料館運営事業
事業概要 実績	<p>○古代の都“長岡京”をテーマとした常設展示の運営、特別展・テーマ展等の展示、講演会・日曜談話会の開催、市民ボランティア活動の支援を通して向日市の各時代の歴史及び文化について広く発信した。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・開館日数 295日 ・入館者数 10,298人 <p>○企画展Ⅰ「『紙漉村旅日記』が語る和紙と時代」 開催日：令和4年6月4日（土）～7月31日（日） 期間中入館者数：1,499人</p> <p>○向日市教育150年記念学校展 開催日：令和4年11月5日（土）～12月18日（日） 期間中入館者数：1,324人</p> <p>○企画展Ⅱ「寿岳文章と向日庵本の世界」 開催日：令和5年2月23日（木・祝）～3月26日（日） 期間中入館者数：1,094人</p> <p>○テーマ展示</p> <ul style="list-style-type: none"> ・企画展プレ展示「寿岳文章が集めた和紙」 開催日：令和4年4月2日（土）～5月29日（日） 期間中入館者数：1,337人 ・「くらしのなかの戦争展」 開催日：令和4年7月16日（土）～8月28日（日）

期間中入館者数：1, 709人

・「くらしの道具展」

開催日：令和5年1月21日（土）～2月16日（木）

期間中入館者数：1, 021人

・「ひな人形展」

開催日：令和5年2月18日（土）～3月26日（日）

期間中入館者数：1, 212人

○文化活動事業

・日曜談話会

「寿岳夫妻が旅した日本」

開催日：令和4年6月12日（日）

参加者数：11人

「隣保班の記録簿で読む昭和16年の向日町」

開催日：令和4年7月24日（日）

参加者数：19人

「校歌で知る学校の歴史」

開催日：令和4年9月4日（日）

参加者数：17人

「夜学場と実業補習学校」

開催日：令和4年11月27日（日）

参加者数：16人

・歴史講座

「新京阪鉄道と向日町」

開催日：令和4年6月19日（日）

参加者数：57人

・古代衣裳関係事業

古代衣裳公開研修「飛鳥時代・藤原京・平城京・長岡京200年間の衣裳変遷」

開催日：令和4年6月25日（土）

参加者数：21人

・記録映画「京の和紙」上映会（企画展I関連事業）

開催日：令和4年7月8日（金）※1回開催

令和4年7月10日（日）※2回開催

参加者数：32人

・夏休み親子歴史教室

「つくって学ぶ さわって感じる 和紙文化と向日庵」

開催日：令和4年7月28日（木）・29日（金）

参加者数：14人

・ワークショップ「手漉き紙づくり」（企画展I関連事業）

開催日：令和4年7月30日（土）※2回開催

	<p>参加者数：20人</p> <ul style="list-style-type: none"> ・企画展Ⅰ記念講演会 「文化財に見る和紙の系譜」 「美術工芸品修理からみた和紙と現代」 開催日：令和4年11月16日（土） 参加者数：72人 ・向日市教育150年記念学校展記念講演会 「学校で何が起こったかー昭和9年室戸台風ー」 開催日：令和4年12月11日（日） 参加者数：24人 ・校歌を唄おう♪コンサート（向日市教育150年記念学校展関連事業） 開催日：令和4年12月18日（日） 参加者数：37人（他、ボランティアスタッフ8人） ・ワークショップ「絵を手彩色で仕上げる」（企画展Ⅱ関連事業） 開催日：令和5年3月12日（日）※2回開催 参加者数：20人 ・企画展Ⅱ記念講演会 「ダード・ハンターとその私家版 ー寿岳文章と向日庵本について考えるためにー」 開催日：令和5年3月25日（土） 参加者数：29人 <p>※新型コロナウイルス感染症拡大防止のため中止した事業</p> <ul style="list-style-type: none"> ・古代衣裳関係事業 大極殿衣裳行列（11月）
	文化資料館

事業名	天文館運営事業
事業概要 実績	<p>○プラネタリウム新番組の導入、講演会や講座の開催など、天文への興味・関心を高める事業を実施した。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・開館日数 246日 ・投影日数 205日、投影回数 530回（9番組） ・プラネタリウム一般投影 観覧者数 4,211人（特別投影を含む） ・プラネタリウム団体投影 観覧者数 1,258人（48団体） <p>・観覧者の内訳 大人 2,511人、小中学生 1,456人、幼児 1,502人 計 5,469人</p>

	<p>・団体の内訳</p> <table border="0"> <tr> <td>市内</td> <td>19団体</td> <td>534人、</td> <td>市外</td> <td>29団体</td> <td>724人</td> </tr> <tr> <td>（幼稚園</td> <td>12団体</td> <td>345人、</td> <td>保育所</td> <td>11団体</td> <td>321人、</td> </tr> <tr> <td>こども園等</td> <td>11団体</td> <td>295人、</td> <td>小学校</td> <td>5団体</td> <td>148人、</td> </tr> <tr> <td>その他</td> <td>9団体</td> <td>149人</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </table> <p>○定例天体観望会 参加者数 205人（12回開催）</p> <p>○特別天体観望会 参加者数 104人（2回開催）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・昼の金星観望会（4月・5月） ・夏の親子天体観望会（8月 1回） <p>○天文教室・講座 参加者数 194人（12回開催）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・夏の天文教室（7月・8月 5回） ・秋の天文教室（9月 1回） ・冬の天文教室（1月・2月 2回） ・天文実験講座（7月 1回） ・天文学講座（10月・12月 2回） ・特別天文講演会（1月 1回） <p>○特別企画事業 参加者数 157人（7回開催）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・七夕ファミリーコンサート（8月 2回） ・大人のための星語り（10月 1回） ・熟睡プラ寝たリウム（11月 1回） ・クリスマスコンサート（12月 1回） ・キッズプラネタリウム（2月 2回） <p>○来館者総数 8,195人（内ロビーのみ入館者 2,136人）</p>	市内	19団体	534人、	市外	29団体	724人	（幼稚園	12団体	345人、	保育所	11団体	321人、	こども園等	11団体	295人、	小学校	5団体	148人、	その他	9団体	149人			
市内	19団体	534人、	市外	29団体	724人																				
（幼稚園	12団体	345人、	保育所	11団体	321人、																				
こども園等	11団体	295人、	小学校	5団体	148人、																				
その他	9団体	149人																							
担当課	天文館																								

施策の成果と課題	
<p>【成果（全施設）】</p> <p>○新型コロナウイルス感染症拡大防止対策を徹底し、感染症拡大防止及び利用者の安全が確保できた。</p> <p>【成果（生涯学習課）】</p> <p>○生涯学習情報紙を発行することにより、市などが開催する生涯学習関連事業の情報を、多くの市民に提供することができた。</p> <p>○生涯学習推進ボランティアサークル「まなぼうや」の活動支援等、市民の学習活動を支援するためのきっかけづくりや、学習機会の提供に取り組めるよう助言等することができた。</p>	

【成果（中央公民館）】

○理科好きの子どもを育成するため「ふしぎ発見理科教室」を4回開催し、理科実験の体験を通じて子どもの好奇心や探求心が喚起できた。

○コロナウイルスの感染拡大により開催できていなかった学習発表会の展示の部を3年ぶりに、舞台の部を4年ぶりに開催し、公民館で活動しているクラブサークルが学習の成果を発表できた。

【成果（図書館）】

○館内レイアウトや返却資料などの消毒、換気などの感染対策を、感染状況に合わせて変更し、その都度、対策の取り組みをホームページやポスターで周知して、市民の方の協力を得ながら開館した。

○読書推進事業は、時間短縮、参加人数制限、開催方法の変更などを行い、令和2～3年度に中止していた事業をほぼ再開し、加えて市制施行50周年記念事業、教育150年記念事業など新しい事業も実施できた。

○ホームページや図書館LINEなど非接触型サービスのPRに努めた結果、予約処理件数が過去最高数となった。

○前年度の指摘を受け、図書館ロビーの掲示版に、「ぐるっとむこうバス」や「向日市防災マップ」のコーナーをつくり情報を提供した。

○前年度の指摘を受け、市制施行50周年記念事業、教育150年記念事業、文化資料館の特別展示などにあわせて図書のテーマ展示を行い事業の連携を図った。

【成果（文化資料館）】

○企画展Ⅰ「『紙漉村旅日記』が語る和紙と時代」では、寿岳文章が全国を行脚して収集した紙の実物見本と、調査の記録をまとめた『紙漉村旅日記』に焦点をあて、明治時代以来、機械製紙に押され衰退の一途をたどっていた手漉きによる紙が、全国各地の村々でまだなおあたりまえに漉かれていた時代のようなすを昭和戦前・戦中期の時代背景とともに紹介した。寿岳文章の和紙研究の軌跡をたどるとともに、和紙文化の魅力を発信することができた。

○向日市教育150年記念学校展は、向日市域に初めて学校が開校して150年となることにちなみ、市内の学校をテーマに、各校のなりたちと乙訓地域の教育の歴史を紹介した。映像番組を制作して会場で上映したほか、各学校や個人から貴重な資料を多数借用して展示することができ、幅広い内容で展示を構成することができた。関連事業として開催した「校歌を唄おう♪コンサート」は、準備段階から市民有志に主体的に関わっていただき、地元高校生も出演していただくなど、市民と協働で取り組むことができた。

○企画展Ⅱ「寿岳文章と向日庵本の世界」では、寿岳文章が残した書物研究の実践的活動である“向日庵本”に焦点をあて、その出版物とともに、関係者とやり取りした書簡や制作経緯がわかる日記、装幀に関する資料や刊行台帳などを展示した。記念講演会は、アメリカの研究者を講師にお招きして開催した。令和3年度に開催した国際シンポジウムでは新型コロナウイルス感染拡大の影響により渡航が困難であったためオンラインで登壇していただいたが、今回は対面形式で開催し、海外研究者と直接交流することができた。通訳を介して質疑応答も活発に行われ、有意義な機会となった。

【成果（天文館）】

○新型コロナウイルス感染拡大の影響を受け参加者が少ない教室はあったが、申し込みがなかった一部の教室を除いて他の事業は開催することが出来た。一般投影、団体について、観覧者数が増え、各教室、講座など参加者が増える傾向であった。

6月から、安全対策を継続しながらプラネタリウム室の定員数を25名から40名に増やしたことで観覧者数が増加した。

○プラネタリウム室を利用した小学校対象の星空を学ぶ機会や学校に出向き行う出前講座などを通し天文への興味が広がっていった。他の教室、講座などについても内容の幅が広く豊富であった。リピートの方も多いが、さまざまな年齢層の方が天文に関心を持っていただくことが出来た。

【課題（生涯学習課）】

○生涯学習について、引き続き市民が自主的・自発的に学習活動に取り組めるよう、各課・関係機関が行っている講座の情報について、より見やすい誌面となるよう効果的にとりまとめる工夫が必要である。

【課題（中央公民館）】

○講座について、開催時期によっては参加者が少ないケースも見受けられ、今後は、広報のあり方を含め開催方法について、アンケートを参考にして検討する必要がある。

○地区公民館主催の趣味・教養講座について、毎年恒例の講座は、市民の期待や関心が高いことから一定の参加者はあるが、今後は加えて新たな講座の開催も検討する必要がある。

【課題（図書館）】

○利用促進のためには、多様なニーズを把握した上で、資料の購入、除籍を行い、常に新鮮な蔵書構成を保つ能力と資料を活用した事業を企画する能力が欠かせない。そのためには、府や団体が行う研修会参加や自己啓発などにより、職員の資質能力の向上を図る必要がある。

【課題（文化資料館）】

○展示事業、文化活動事業とともに、多様なニーズを考慮しながら内容の充実と周知方法の工夫を行い、入館者数の一層の増加につなげる必要がある。

○古代衣裳関係事業は、文化資料館の特徴的な取り組みの一つである。今後もボランティアと協力・連携し、復元古代衣裳を通じて古代の都・長岡京を広く発信していく必要がある。

○令和2年度から令和4年度まで、新型コロナウイルス感染症の影響を受けながらも様々な工夫を重ねながら3年計画で取り組んできた寿岳文章関連の一連の取組は、令和4年度企画展Ⅱ「寿岳文章と向日庵本の世界」をもって全て完了し、多くの成果を得ることができたが、英文学、書誌学、和紙研究、民藝運動、国際交流など他分野にわたる寿岳文章の業績については学際的な評価が必要であり、今後も調査研究を進めていく必要がある。

○令和3年度に運用を開始したクラウド型収蔵品管理システム及び同システムに付属するアプリを一層活用し、情報発信を強化していく必要がある。

【課題（天文館）】

○天文館の存在を市内、市外問わず広く知ってもらえるよう今後も宣伝活動に努め、利用促進を進めていく必要がある。

○プラネタリウムの定員や各教室、講座などの定員を元に戻し運営を行う。

そのため、今後も安心、安全に天文館事業を利用者に楽しんでもらえるよう事業内容の充実に努める必要がある。

○天文館がより魅力のある場所として利用してもらえるよう環境整備を行う。

外部評価委員評価及び意見等

○中央公民館は「天気がわかる？不思議な結晶」などタイトルから興味を持つことができる、非常に驚きと発見が用意された講座を数々開催するなどの工夫がされている。今後もこのような講座を継続していただきたい。また、今後、高齢者を対象とした、社協や民生児童委員などとコラボした「介護保険制度」についての講座など、横のつながりをもった新たな講座を地区公民館で開催してはどうか。

○図書館は、「ぐるっとむこうバス」などの情報提供、新たな事業の開催、ホームページや図書館LINEなど非接触型サービスのPRに努めるなど、常に市民のために工夫がされており、生涯学習環境充実を目指すうえで中核的な存在として期待できる。

○文化資料館が発行された「向日市教育150年記念誌」は、学校創立から今日にいたるまでの学校と地域の歴史が紹介され、後世に残せる立派な冊子となっており、また、向日市教育150年記念学校展の関連事業で市民と協働で取り組むことができたことは大変評価できる。施設の扉が、少し重厚感があり入りにくい感じがするが、もっと多くの方々に来てもらえるよう、来庁者にどう感じたかのアンケートを取って意見を聞いてみてはどうか。

○天文館のある自治体は少ない。この施設は向日市の「強み」である。今後は、各種メディアに取り上げてもらうなどの取組を通して、「一度は行ってみたい向日市天文館」となることを目指してほしい。それが、向日市民の来場者数の増加にもつながるのではないか。

○各施設が、前年度より更に工夫を凝らして取り組んでいる。そして、素晴らしい成果となっている。一方、スタッフが限られる中で、それぞれの部門ごとに情報を発信していくのは大変であることが推測される。学習機会などの情報を取材して、SNSなどを利用して発信していく、市民を含む専門部隊のようなものを作ってはどうか。

施策番号	7
施策名	家庭・地域社会の教育力の向上

<p>施策の基本方向</p> <p>○家庭教育はすべての教育の出発点であり、その担い手である保護者自身が学ぶための学習機会の充実に努める。</p> <p>○学校・家庭・地域社会が連携して、様々な活動を通して地域の絆を強め、地域全体で子どもたちをはぐくむ環境づくりを推進する。</p>

事業名	家庭教育講座
事業概要 実績	<p>○講演会「生きる力」を育む遊びの環境～ネット時代の子育て～</p> <p>講師：マジックパパ 和田のりあきさん</p> <p>開催日：令和4年10月7日（金）午後7時～8時30分</p> <p>参加者数：20人</p> <p>今と昔（1960年・1980年）の子どもの遊び場の変遷、伝承遊びの必要性などを資料やご自身の経験を元に説明いただいた。</p>
担当課	生涯学習課

事業名	P T Aとの連携・支援
事業概要 実績	<p>○向日市P T A連絡協議会の年11回の理事会、軽スポーツ大会等の活動で支援・助言を行った。</p> <p>○向日市P T A連絡協議会と教育委員会との懇談会を開催した。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・日 時：令和4年10月20日（木） ・参加者：向日市P T A連絡協議会：理事・役員 11名 向日市教育委員会：教育長、教育部長、副部長、総括指導主事、指導主事、学校教育課長、教育総務課長、生涯学習課長 9名 ・内 容：教育委員会の業務について、児童生徒の使用しているタブレット端末について、部活動の地域移行について、コミュニティ・スクールについて <p>○社会教育関係団体に補助金を交付した。</p> <p>交付団体：市立小中学校P T A</p> <p>○向日市P T A連絡協議会との共催による人権研修会を実施した。</p> <p>第1回「このまちが好きだから～被差別の歴史をもつ地域に生まれて～」</p> <ul style="list-style-type: none"> ・開催日：令和4年8月6日（土） ・場 所：福社会館大会議室 ・参加者数：24人

	<p>第2回「性と生を考える ～性差別と性的マイノリティ差別の交差点～」</p> <ul style="list-style-type: none"> ・開催日：令和4年12月15日（木） ・場 所：福祉会館大会議室 ・参加者数：24人
担当課	生涯学習課

事業名	地域学校協働活動推進事業
事業概要 実績	<p>○保護者をはじめ自治会や農家組合の方など幅広い地域住民の参画を得て、学校に対する多様な協力活動を実施し、地域全体で児童生徒の学びや成長を支えるとともに、「学校を核とした地域づくり」を目指して、学校と地域の方々が双方向で連携・協働し、子どもたちが安心して暮らせる環境づくりを推進した。</p> <p>実施校：向陽小（H26～）、2向小（H24～）、3向小（H21～） 4向小（H29～）、5向小（H27～）、6向小（H28～） 勝山中（H27～）、西ノ岡中（H25～）、寺戸中（R元～）</p> <p>本部委員：55人</p> <p>内 容：学習支援 向陽小、2向小、3向小、4向小、6向小 勝山中、西ノ岡中、寺戸中</p> <p>環境整備 向陽小、5向小、6向小</p>
担当課	生涯学習課

事業名	放課後児童サポート事業
事業概要 実績	<p>○子どもの安心・安全な居場所づくりを目的に、5時間目終了後から高学年の授業終了までの間、低学年を対象に自由遊び等を感染症対策の徹底を図った上で行った。</p> <p>実施場所：向陽小、3向小 ※2向小、4向小、5向小、6向小は、新型コロナウイルス感染症拡大防止のため中止</p> <p>実施回数：16回（年間延べ2, 196人）</p> <p>内 容：グラウンド・体育館での自由遊び、教室での学習支援など</p>
担当課	生涯学習課

事業名	ジュニア・リーダー養成講座
事業概要 実績	<p>○次世代のリーダーとして必要な知識、技術、コミュニケーション能力の習得を目的に、野外活動・講話・実習などの体験学習や集団学習を計画していたが、新型コロナウイルス感染症拡大防止のため中止した。</p>
担当課	生涯学習課

事業名	青少年健全育成団体との連携・支援
事業概要 実績	<p>○青少年健全育成団体との連携 (新型コロナウイルス感染症拡大防止に留意し実施)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・安全見守りパトロール 自宅周辺の自主パトロールに変更実施 ・あいさつ運動 小中学校登校時に実施 (2団体) ・市民ふれあいコンサート 出演者など関係者のみで開催 参加校・参加団体 市内3中学校及び京都西山高等学校の吹奏楽部、京都管楽合奏団 ARTY BEARS <p>○青少年健全育成団体への補助金を交付した。 交付団体数：4団体</p> <p>※新型コロナウイルス感染症拡大防止のため中止した事業 環境浄化活動</p>
担当課	生涯学習課

施策の成果と課題	
<p>【成果】</p> <p>○家庭教育講座では、講座で得た子育て、孫育てに関する知識や考え方を家庭で役立てたいなどの感想があり、市民に対して学習機会を提供することができた。</p> <p>○地域学校協働活動推進事業については、新型コロナウイルス感染症対策を講じつつ、すべての小中学校で事業を実施することができ、地域と学校との連携、協働を図ることができた。</p> <p>○PTA・青少年健全育成関係団体の活動の運営及び事業に要する経費の一部を補助することで、社会教育の振興・発展を図るための活動に対する支援を行うことができた。</p> <p>○「市民ふれあいコンサート」は、人数制限やタイムスケジュールの調整、移動ルートの設定等新型コロナウイルス感染対策を徹底した上で、無観客ではあったが開催することができた。参加者からは、他校の演奏が聴けて良かったという声があり、大変好評であった。</p> <p>○令和3年度に引き続き、向日市PTA連絡協議会と教育委員会との懇談会を令和4年10月20日(木)に開催し、児童生徒が実際に使用しているタブレットや部活動の地域移行、コミュニティ・スクールについて説明を行い、教育行政への理解促進を図ることができた。</p> <p>【課題】</p> <p>○家庭の教育力の向上を図るため、子どもの家庭教育に関する学習機会の提供や、基本的な生活習慣の重要性や現代的課題などの理解促進に向けた取組を継続して推進することが必要である。</p>	

○地域全体で子どもたちをはぐくむ環境づくりを推進するため、地域学校協働活動推進事業における人材確保に努めるとともに、PTAや青少年健全育成関係団体の活動を継続して支援することが必要である。

また、学校運営協議会において熟議された学校のニーズを踏まえ、地域学校協働活動を実施し、その成功体験等を学校運営協議会に共有するなど、地域学校協働活動とコミュニティ・スクール（学校運営協議会を設置した学校）の一体的推進を図る必要がある。

外部評価委員評価及び意見等

○家庭の教育力の向上を図ることは非常に重要なことであり、その取組としての家庭教育講座は大事であるが、限られた回数の中で実施するので、毎年対象者の焦点を絞って計画したり、低学年の保護者を対象とした講演会について、午前中に開催するなどの工夫を行ってはどうか。

○幅広い地域住民と学校が連携して、学習支援などの地域学校協働推進事業の取組を全小中学校で実施できたことは評価できる。コミュニティスクールが有効に機能するために必要なことでもあり、今後も、どの事業を進めていくかはあまり縛りをかけずに、各学校ごとの方針でぜひ積極的に進めていっていただきたい。

○新型コロナウイルス感染対策を徹底して、市民ふれあいコンサートを開催できたことは評価できる。今後は関係者だけではなく、一般の市民にも広く来場してもらえるような催しにしていっていただきたい。

施策番号	8
施策名	安心して産み育てる体制づくり

<p>施策の基本方向</p> <p>○安心して子どもを産み、健やかに育てることができる環境づくりを推進する。</p>
--

事業名	放課後児童健全育成事業（留守家庭児童会運営事業）																												
事業概要 実績	<p>○放課後などに保護者等が仕事などで不在の小学生に、遊びや生活の場を提供し、その健全な育成を図った。</p> <p>①各留守家庭児童会入会児童数（令和4年5月1日現在）</p> <table border="0"> <tr><td>第1留守家庭児童会</td><td>140人（3クラブ）</td></tr> <tr><td>第2留守家庭児童会</td><td>108人（3クラブ）</td></tr> <tr><td>第3留守家庭児童会</td><td>91人（2クラブ）</td></tr> <tr><td>第4留守家庭児童会</td><td>175人（4クラブ）</td></tr> <tr><td>第5留守家庭児童会</td><td>134人（3クラブ）</td></tr> <tr><td>第6留守家庭児童会</td><td>65人（2クラブ）</td></tr> <tr><td>計</td><td>713人</td></tr> </table> <p>②各留守家庭児童会夏季入会児童数（令和4年7月21日～8月25日）</p> <table border="0"> <tr><td>第1留守家庭児童会</td><td>24人</td></tr> <tr><td>第2留守家庭児童会</td><td>38人</td></tr> <tr><td>第3留守家庭児童会</td><td>15人</td></tr> <tr><td>第4留守家庭児童会</td><td>24人</td></tr> <tr><td>第5留守家庭児童会</td><td>23人</td></tr> <tr><td>第6留守家庭児童会</td><td>10人</td></tr> <tr><td>計</td><td>134人</td></tr> </table> <p>③指導員研修会の実施 計5回</p> <p>「障がいのある児童への支援」（6月）</p> <p>「アンコンシャスバイアス研修（無意識の思い込みをなくす）」（9月）</p> <p>「消防、地震対応（地震体験）」（10月）</p> <p>「アンガーマネジメント研修」（11月）</p> <p>「児童虐待防止対策について」（2月）</p> <p>④留守家庭児童会巡回支援相談事業の実施</p> <p>放課後児童健全育成事業の育成支援の内容の質の向上（指導員のレベルアップ）を図るため、留守家庭児童会の巡回相談を実施した。</p> <p><令和4年度実施回数></p> <p>計11回</p>	第1留守家庭児童会	140人（3クラブ）	第2留守家庭児童会	108人（3クラブ）	第3留守家庭児童会	91人（2クラブ）	第4留守家庭児童会	175人（4クラブ）	第5留守家庭児童会	134人（3クラブ）	第6留守家庭児童会	65人（2クラブ）	計	713人	第1留守家庭児童会	24人	第2留守家庭児童会	38人	第3留守家庭児童会	15人	第4留守家庭児童会	24人	第5留守家庭児童会	23人	第6留守家庭児童会	10人	計	134人
第1留守家庭児童会	140人（3クラブ）																												
第2留守家庭児童会	108人（3クラブ）																												
第3留守家庭児童会	91人（2クラブ）																												
第4留守家庭児童会	175人（4クラブ）																												
第5留守家庭児童会	134人（3クラブ）																												
第6留守家庭児童会	65人（2クラブ）																												
計	713人																												
第1留守家庭児童会	24人																												
第2留守家庭児童会	38人																												
第3留守家庭児童会	15人																												
第4留守家庭児童会	24人																												
第5留守家庭児童会	23人																												
第6留守家庭児童会	10人																												
計	134人																												

	⑤ 施設環境整備 建具、網戸、照明などの施設修繕を行った。
担当課	生涯学習課

事業名	幼児教育の振興
事業概要 実績	<p>○向日市私立幼稚園設備費補助金 園児に安全で快適な教育環境を提供し、幼稚園教育の振興を図るために、市内私立幼稚園の設置者に対し、私立幼稚園の設備等の充実に係る経費を補助した。 交付：市内3園 630,000円（1園当たり210,000円）</p> <p>○向日市私立幼稚園教材教具購入補助金 在籍する園児の保護者負担の軽減を促進するとともに、幼稚園教育の振興を図るために、市内私立幼稚園の設置者に対し、私立幼稚園の教材教具の購入に係る経費を補助した。 交付：市内3園 270,000円（1園当たり90,000円）</p> <p>○乙訓私立幼稚園協会教育研究補助金 乙訓私立幼稚園協会が実施した教育研究事業に係る経費を補助することにより、市内に設置された私立幼稚園における幼稚園教育の振興が図ることができた。 交付：195,000円（1園当たり65,000円）</p> <p>○向日市私立幼稚園特別支援教育振興補助金 障がいのある幼児の円滑な受入れを推進し、教育の充実に図り、適切な保育環境を提供するために、市内私立幼稚園の設置者に対し、障がいのある幼児の特別な教育的支援の実施に要する人件費を補助した。 交付：市内3園 総額 1,764,000円（18人：補助単価98,000円）</p> <p>○令和4年度から補助金の要綱を改正し、原則、実績報告書に基づく補助金の交付に変更した。</p>
担当課	教育総務課

施策の成果と課題	
<p>【成果（生涯学習課）】</p> <p>○留守家庭児童会では、入会要件を満たす児童を全て受け入れたことで、保護者のニーズに応えることができた。また、すべての留守家庭児童会でエアコンの分解清掃を実施するなど、施設ごとに必要な修繕を行うことにより、良好な保育環境を保つことができた。</p>	

【成果（教育総務課）】

○私立幼稚園の設備、備品の整備を促進するとともに教職員の教育研究事業等を支援することにより、幼稚園教育の振興を図ることができた。

障がいのある幼児を受け入れる私立幼稚園を支援することにより、障がいのある幼児の就園促進及び教育の充実を図り、適切な保育環境の提供を推進することができた。

○令和4年度から実績報告に基づき補助金を交付することにより、補助金事務の適正化を図ることができた。

【課題（生涯学習課）】

○児童が安心・安全に過ごすことができ、保護者も安心して就労することができるよう、各留守家庭児童会において引き続き指導員の確保及び環境整備に努める必要がある。

【課題（教育総務課）】

○幼児教育の重要性を踏まえ、引き続き私立幼稚園の設置者に対して補助金の支給を行い、幼稚園教育の振興を図る必要がある。

外部評価委員評価及び意見等

○放課後児童健全育成事業では、指導員不足の中、入会要件を満たす児童を全員受け入れることができたことや、施設の環境整備に努めていることは、非常に素晴らしいことである。入会人数が増えているので、なかなか難しいかもしれないが、今後も全員を受け入れ、指導員の研修を徹底してレベルアップを図るという2本柱の方向性で引き続き行っていただきたい。

○幼児教育の振興を図るために補助金は有効であり、要綱を一部改正して補助金の適正化を図ることができたことは評価できる。

施策番号	9
施策名	スポーツ活動の推進

施策の基本方向
 ○スポーツを「する」「みる」「ささえる」を通じたスポーツ人口の拡大を目指し、市民が健康で心豊かに暮らせるよう、市民一人一人のライフステージに応じたスポーツ活動の推進とスポーツに親しめる環境の充実に努める。

事業名	各種スポーツイベントの開催
事業概要 実績	○市民総合体育大会 参加者：549人 ○スポーツ交流フェア 新型コロナウイルス感染症拡大防止のため中止 ○スポーツランド 新型コロナウイルス感染症拡大防止のため中止
担当課	生涯学習課

事業名	市民体育館の管理運営
事業概要 実績	○平成18年度から指定管理者制度を導入し、令和3年度から5年間の指定管理者に（公財）向日市スポーツ文化協会を指定している。 ・体育室稼働率：87.8% ・トレーニング室利用者：14,192人（令和4年4月～令和5年1月） ※トレーニング室は健康増進センターに移転のため、令和5年1月15日閉室 ○鉄棒用着地マット、バレーボール審判台（4台）、卓球防球フェンス（10台）を購入した。
担当課	生涯学習課

事業名	スポーツ指導者育成
事業概要 実績	○スポーツ推進委員の育成 研修会の開催（毎月1回）、スポーツイベントへの派遣など
担当課	生涯学習課

事業名	学校等体育施設開放事業
事業概要 実績	○社会体育の振興を図るため、学校等体育施設の開放を行った。また、「新しい生活様式に基づく向日市立学校等体育施設使用ガイドライン」を使用する団体に配布し、感染症対策の徹底を図った。 ・使用回数 小学校 体育館：2,382回 グラウンド：2,122回 中学校 体育館・武道場：881回 向日町競輪場スポーツ施設：581回
担当課	生涯学習課

施策の成果と課題

【成果】

○令和3年度は、新型コロナウイルス感染症防止のため、各種スポーツ事業の開催が中止を余儀なくされたが、今年度は感染対策をしつつ、市民総合体育大会の開催や年間を通じての学校等体育施設の貸出しなど中止となっていた事業を実施でき、スポーツを行う機会を提供することができた。

○老朽化した市民体育館の鉄棒用着地マット、バレーボール審判台、卓球防球フェンスを購入したことにより、安全面の確保ができ、また競技スポーツの向上にも寄与した。

○（公財）向日市スポーツ文化協会の各種スポーツ教室などを向日市制施行50周年記念事業として実施し、市民一人一人のライフステージに応じたスポーツ活動の推進とスポーツに親しめる環境の充実を図るとともに、市制施行50周年の機運の醸成を図った。

○スポーツ推進委員では、新たにニュースポーツの「モルック」の研究に取り組み、乙訓スポーツ推進委員研究協議会や市民向けの体験会で競技の普及を図るとともに、ウォーキングやラジオ体操を行う事業を実施するなど、市民の健康推進とスポーツに親しめる環境づくりに努めた。

【課題】

○自らの意欲や健康状態に応じて、誰もが気軽にスポーツに取り組めるよう、引き続き（公財）向日市スポーツ文化協会や関係機関・団体と連携して事業に取り組み、幅広い年齢層の方々にスポーツに接することができる機会を提供し、スポーツの実施率の向上などを図る必要がある。

○令和3年3月策定の「向日市スポーツ推進計画」に基づき、市民が健康で心豊かに暮らせるよう、市民一人一人のライフステージに応じたスポーツ活動の推進とスポーツに親しめる環境の充実を図っていく必要がある。

外部評価委員評価及び意見等

○スポーツを「する」「みる」「ささえる」人すべてがスポーツ人口に入るという考え方は、スポーツをすることが得意でない人にとっても気楽に前向きにスポーツに接することができ、スポーツに対する考え方も広がることから、今後も市民一人一人のライフステージに応じたスポーツ活動の推進を図っていただきたい。

○市民総合体育大会など、コロナの影響を受けて中止となっていた事業の一部を開催することができ、多くの方が喜んでおられるので、今後も感染対策を施しながら、各種スポーツイベントを実施していただきたい。

○卓球は、道具にかかる費用負担が比較的少なく、運動能力にかかわらず生涯楽しめるスポーツである。市民のスポーツとして広がる要素が期待できるため、市民体育館に常設で卓球台を4台置いたことは評価できる。

施策番号	10
施策名	多様性を認め合う社会の実現

施策の基本方向
 ○市民が生涯のあらゆる場や機会を通じて、人権尊重の理念や、同和問題など様々な人権問題についての正しい理解と認識を深めるとともに、実践につながる自発的な学習活動の促進と、その啓発に努める。

事業名	人権研修会
事業概要 実績	市民がそれぞれの状況に応じて、人権尊重の理念に対する理解を深め、これを体得することができるよう、人権について学ぶ機会として開催した。 第1回「このまちが好きだから～被差別の歴史をもつ地域に生まれて～」 開催日：令和4年8月6日（土） 参加者数：24人 第2回「性と生を考える ～性差別と性的マイノリティ差別の交差点～」 開催日：令和4年12月15日（木） 参加者数：24人
	生涯学習課

施策の成果と課題

【成果】
 ○参加者のアンケート結果から第1回目は部落問題当事者の体験談を直接聞くことで、問題を深く考えるきっかけとなったと回答があった他、講師は当初「寝た子を起こすな」といった考えだったが、同和教育を自ら「学び直し」、今活動されていて大人になってからの「学び直し」の大切さを参加者に伝えることができた。
 第2回目については女性差別について、日本は世界と比べ後進的であることやLGBTQの人たちが受ける差別について解説があり、現状について詳しく知る機会となった、多様な考え方があることを知り、柔軟な考え方を持つことが重要だと再認識した、性的志向とジェンダースの違いなど、頭では理解していたつもりだったが整理できたなど、受講してよかったとのアンケート評価を得ることができた。
 講演後、参加者同士で講演において学んだことを共有するグループ討議の時間を設けたことも有意義な時間だったとの評価があった。

○第1回は新型コロナウイルス感染症対策として、定員を60名から30名に減らし、前列にアクリル板を設置し、当日の検温・消毒、参加者のマスク着用、座席間の距離の確保を保つなど、できる限りの対策を行い、実施することができた。

【課題】

○より多くの市民に参加してもらえるよう、市民に身近なテーマの選択や周知方法等を工夫する必要がある。

外部評価委員評価及び意見等

○人権研修会は、これまでから年2回続けられており、参加者に、学び直しの大切さを伝えることができたのはすごく重要なことであり、これからも、様々の観点をテーマとした研修を継続していただきたい。

○今後、第2回目に開催された研修会のように性的マイノリティをテーマとする場合に、当事者または当事者に近い方を講師とすることを検討していただきたい。

施策番号	11
施策名	歴史・文化資源の整備と活用

施策の基本方向
 ○文化財の保護及び積極的な整備や活用に努め、歴史・文化資源を未来に継承する。

事業名	有形文化財の保護と活用事業
事業概要 実績	<p>○美術工芸品の維持管理</p> <ul style="list-style-type: none"> ・目的 指定・未指定等文化財の保存修理に要する経費を補助する。 ・補助等 1事業者 1事業 320,000円
	<p>○建造物の保全整備と活用</p> <ul style="list-style-type: none"> ・目的 国登録有形文化財旧上田家住宅を保存修理し活用を図る。 ・内容 令和3年度に開館した史跡長岡宮跡、国登録有形文化財旧上田家住宅に案内員を配置し、来訪者に対して市内の歴史・文化遺産の案内解説を行うと共に、一層の活用と地域振興・観光振興に寄与する。 ・開園日数 296日 ・来訪者数 7,512人 ・一日平均 25.38人 ・累計来訪者数 9,082人 ・その他 上記の案内解説に加えて、向日市制施行50周年記念旧上田家住宅アートギャラリー展や向日市制施行50周年・向日市教育150年記念事業絵画コンクールなど地域学習や研修の場としても、国登録有形文化財旧上田家住宅・南内裏公園を活用に供した。
	<p>○建造物の防災設備維持管理補助</p> <ul style="list-style-type: none"> ・目的 国及び京都府指定等文化財（建造物）の修理や防災設備維持管理、災害普及等に要する経費を補助する。 ・補助等 3事業者 3事業 89,000円
	<p>○建造物の維持管理</p> <ul style="list-style-type: none"> ・目的 国登録有形文化財の解体修理に要する経費を補助する。 ・補助等 1事業者 1事業 800,000円
	<p>○建造物の防火・防犯</p> <ul style="list-style-type: none"> ・目的 国及び京都府指定等文化財（建造物）の適切な管理を図るため、文化財火災予防運動の期間中に、広報活動、消防訓練、消防設備の点検立入検査等を実施する。 ・訓練 令和5年1月25日（水） 悪天候のため中止。

	<ul style="list-style-type: none"> ・ 検 査 令和5年1月23日（月） 指定文化財及び登録文化財の建造物に立ち入り、消防設備の点検及び防火意識の高揚を図った。
担当課	文化財調査事務所

事業名	史跡の保護と活用事業
事業概要 実績	<p>○史跡長岡宮跡の買上げ事業</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 目 的 史跡長岡宮跡を適切に保護するため用地を買い上げる。 ・ 買 上 地 向日市鶏冠井町大極殿ほか 3筆 1,637.72㎡ <p>○史跡等の文化財保存団体への補助</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 目 的 市内に所在する史跡等の保存団体が実施する文化活動に要する経費を補助する。 ・ 補 助 等 2団体 59,000円 <p>○史跡指定地等文化財用地の維持管理</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 目 的 史跡指定地等の文化財用地の清掃、除草、樹木の剪定、生垣刈込等を実施し、史跡環境の保全に努める。 ・ 内 容 文化財用地11か所において、延120回の維持管理作業を実施した。 <p>○史跡乙訓古墳の群維持管理</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 目 的 史跡指定地等文化財用地の中でも史跡乙訓古墳群の五塚原古墳(37,242.22㎡)及び寺戸大塚古墳(4,380.14㎡)は、令和元年3月に取得し保全状況も十分でないため、境界付近の危険木の枝払い作業を実施し、史跡環境の保全に努める。 ・ 内 容 寺戸大塚古墳は、タケノコの除去や竹の間伐を実施した。五塚原古墳は、前面道路等隣接地に伸びた樹木の伐採を実施した。
担当課	文化財調査事務所

事業名	埋蔵文化財の保護と活用事業
	<p>○開発等に係る埋蔵文化財の審査</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 目 的 市内の周知の埋蔵文化財包蔵地内で実施される開発等を審査し、必要な場合は保存措置を行う。 ・ 件 数 開発、まちづくり条例に係る文化財審査 25件 建築確認申請に係る文化財審査 221件 埋蔵文化財発掘届出書受理 208件 埋蔵文化財発掘通知書受理 8件

事業概要 実績	<p>○埋蔵文化財発掘調査等事業</p> <ul style="list-style-type: none"> ・目的 長岡京跡ほか本市の特色ある埋蔵文化財を保護するため各種の調査を実施する。 ・発掘調査 14件 1,331.00㎡ ・立会調査 155件 (埋蔵文化財詳細分布調査) ・出土遺物 22箱
	<p>○物集女城跡総合調査報告書作成業務</p> <ul style="list-style-type: none"> ・目的 物集女城跡の保存にむけた課題の整理を図る。 ・内容 物集女城跡に関するこれまでの埋蔵文化財発掘調査や文献調査等の成果を踏まえ、桂川右岸の中世西岡地域における物集女氏の位置づけを考察する総合調査報告書を作成した。
	<p>○埋蔵文化財出土遺物保存処理事業</p> <ul style="list-style-type: none"> ・目的 埋蔵文化財発掘調査出土品で、歪みや変形、腐食等により現状の保管ができない遺物を科学的処理し恒久的に保存する。 ・種別等 長岡京跡ほか埋蔵文化財発掘調査出土遺物 京都府指定文化財 (考古資料) <ul style="list-style-type: none"> 物集女車塚古墳出土 環状辻金具 3点 物集女車塚古墳出土 環状雲珠 2点 物集女車塚古墳出土 鉄地銀張製環頭金具 1点 物集女車塚古墳出土 銀製耳環 2点 物集女車塚古墳出土 鞍金具 41点 ・処理方法 鉄製品 アルカリ性水溶液含浸 銅製及び青銅製 ベンゾトリアゾール溶液含浸
	<p>○埋蔵文化財出土遺物整理分類事業</p> <ul style="list-style-type: none"> ・目的 飽和状態にある埋蔵文化財出土遺物を適切に管理するため、国や府の基準に基づき分類整理する。 ・内容 埋蔵文化財発掘調査等の出土遺物を活用度に応じA～Dの四種類に分類し、データベースを作成した。 ・成果 令和4年度コンテナ 47箱 198点 (点数は活用できるA. B分類のみ) 累計コンテナ 12,070箱 累計遺物個体数 73,507点 (点数は活用できるA. B分類のみ)
	担当課

	<p>○埋蔵文化財調査成果展の開催</p> <p>(1) 物集女城出現とその背景</p> <ul style="list-style-type: none"> ・目的 前年度に向日市内で実施した主な発掘調査成果についてテーマを設け展示し広く市民に広報する。 ・期間 令和4年9月10日(土)～10月23日(日) ・来館者 1,643人 ・講演会 開催日 令和4年10月2日(土) 演題 西岡の中世城館と物集女城 参加者 40人 ・その他 新型コロナウイルス感染防止のため、1回あたり40人に入場制限をして開催した。 <p>(2) 長岡宮内裏の甍</p> <ul style="list-style-type: none"> ・目的 史跡長岡宮跡内裏地区で実施した主な発掘調査成果についてテーマを設け展示し広く市民に広報する。 ・期間 令和5年3月7日(火)～3月19日(日) <p>○埋蔵文化財等保管資料の活用</p> <table border="0" style="width: 100%;"> <tr> <td>・出土遺物等資料の貸出</td> <td style="text-align: center;">4機関に</td> <td style="text-align: right;">30点</td> </tr> <tr> <td>・写真資料提供、掲載等承諾</td> <td style="text-align: center;">12機関に</td> <td style="text-align: right;">40点</td> </tr> <tr> <td>・保管資料の調査・見学対応</td> <td style="text-align: center;">5機関に</td> <td style="text-align: right;">44点</td> </tr> </table> <p>※新型コロナウイルス感染症拡大防止のため中止した事業</p> <p>○史跡長岡宮跡朝堂院西第四堂復元・体感具「ふわふわ!朝堂 in」の活用</p> <ul style="list-style-type: none"> ・目的 史跡長岡宮跡の適切な保全と、広報普及等の活用を促進するため、空気で膨らませることができる塩化ビニル製の朝堂院西第四堂を作成し活用し、史跡長岡宮跡の広報普及を図る。 <p>○古代衣装の貸出(長岡京期の衣装 男女各4着)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・場所 朝堂院公園案内所 <p>○史跡乙訓古墳群物集女車塚古墳石室一般公開</p> <ul style="list-style-type: none"> ・目的 良好な形で現存し、保全整備工事が終了した物集女車塚古墳の横穴式石室を広く公開し、史跡乙訓古墳群への理解を得る。 	・出土遺物等資料の貸出	4機関に	30点	・写真資料提供、掲載等承諾	12機関に	40点	・保管資料の調査・見学対応	5機関に	44点
・出土遺物等資料の貸出	4機関に	30点								
・写真資料提供、掲載等承諾	12機関に	40点								
・保管資料の調査・見学対応	5機関に	44点								
担当課	文化財調査事務所									

施策の成果と課題	
<p>【成果】</p> <p>地域の特色ある歴史・文化遺産を活かし、展示や講座・講演会、地域学習など多くの事業を実施し、文化財の活用促進を行うことができた。</p> <p>令和4年度は、史跡長岡宮跡に所在する、国登録有形文化財旧上田家住宅の一般公開開始2年目となり、配置した案内員による史跡長岡宮跡の解説他、会議や向日市制施行50周年記念旧上田家住宅アートギャラリー展など催し物の会場として主屋や内蔵等の貸室業務を行</p>	

い、1年間で7,512人の来館及び利用者があった。

これらの結果、市民の文化財保護への理解を深め、地域愛を育み、文化財を核とした地域振興、観光振興に寄与することができた。

【課題】

○本市に所在する特色ある歴史・文化遺産は史跡乙訓古墳群を始め、史跡長岡宮跡や重要文化財を有する向日神社、南真経寺が主体となる。しかし、市内外への周知度は必ずしも十分ではない。地域の歴史を物語る財産、後世に残したい宝として市民の共通の認識をつくれるような保護施策と、価値を高め広く認知されるよう多様な活用施策ならびに、積極的な情報発信を引き続き行っていく必要がある。

○これまで史跡長岡宮跡や史跡乙訓古墳群など市域の中南部や丘陵部の文化財活用が中心であったが、市域の北部に所在する「物集女城跡」を保存し、市域全体の歴史文化遺産の活用に取り組む必要がある。

○まちづくりに文化財を活かし、地域が一体となって歴史・文化資源の継承に取り組んでいくため、文化財の計画的な保存と活用の促進を図っていく必要がある。そのため、京都府が策定した「京都府文化財保存活用大綱」を参考に、地域住民の意見を反映した「向日市文化財保存活用地域計画」や「史跡乙訓古墳群保存活用計画」を策定する必要がある。

外部評価委員評価及び意見等

○旧上田家住宅では、様々な分野の作品展示が行われ、発表の場が増えたことや、今まで知らなかった方の作品などを広く市民が見る機会ができたことは大変評価できる。

○来訪者数は、前年度から伸びている。施策が成功していると考えられる。今後も、市の代表的なポイントとして位置づけ、リピーターが増えるよう上手に活用を図っていただきたい。

○市内には色々な文化財や遺跡があるので、各区事務所が中心になって希望する住民を募り、自分の区にある残したいものを調べるような取組を考えてはどうか。

IV 外部評価委員の総評

コロナ禍の中で、様々な事業に影響があったこの数年間であるが、その制約がある状況下の中においても、市民のことを考えて、持てる人的資源、物的資源を最大限活用して効果的に事業を行っている。

その工夫が実りとなってきていることが認められ、これからの事業の充実について期待できる。

とりわけ、生涯学習分野については、展示や講演会などを各施設が連携して取り組むなど横のつながりを意識した事業も展開され、生涯学習の全分野において、一昨年の取組をそのまま継承するだけではなく、更に新たな事業が展開され、それがすばらしい成果となっている。

このように、生涯の各時期における多様な学習機会の提供などの情報発信についても、向日市の生涯学習事業として各施設が連携して行うことが必要である。

教育委員会の事業全体が個々バラバラのものではなく、見えないところで連携され温かみのあるものとなっており、今後も、教育委員会全体で「第2次ふるさと向日市創生計画」に基づき、魅力ある向日市の教育の推進に尽力されたい。